

「本四高速全国共通料金対応戦略」(第1弾・第2弾)の進捗状況(平成26年1月末現在)

平成26年度の「全国共通料金制度導入」に向けて、
迅速な対応が必要な施策を全庁挙げて切れ目なく展開中！



【とくしま発信戦略】



ゆるキャラグランプリ2013
第12位獲得！

【産業振興戦略】



ものづくり新技術展示商談会

【観光交流戦略】



「おどる宝島！パスポート」
をスタート

【農林水産戦略】



ブランド食材の販路拡大

【交通ネットワーク戦略】



四国横断自動車道の
整備を促進！

【文化・スポーツ・にぎわい戦略】



四国の右下食博覧会

本 四 高 速 全 国 共 通 料 金 対 応 戦 略 (第 1 弾) の 進 捗 状 況

1) とくしま発信戦略 全国共通料金制度導入により拡大する本県のメリットや魅力について、全国に向けて情報発信を行う。 H26.1末現在

番号	事業名等	事業内容等	進捗状況	予算区分	予算額 (千円)	担当課名
1	徳島県メディア戦略事業 (緊急雇用)	本県の県産品や観光に関する認知度向上及びイメージアップのため、首都圏を始めとする大都市圏の影響力の強いメディア媒体をターゲットとして、戦略的な広報活動を実施する。	自治体職員を対象とした首都圏向け「広報カスキルアップセミナー」を10月、11月、1月に3回実施。 徳島県の知名度アップのためFacebook「徳島すだまり旅日記」を9月から開始、12月末まで、1000いいね！を獲得。	当初	7,927	東京本部
2	広報媒体交換事業 【ゼロ予算事業】	近畿圏等との交流拡大を図るため、近畿圏等の府県と広報紙等のスペースを交換し、本県の魅力発信を行う。	○広報紙紙面交換(兵庫県・奈良県・和歌山県・鳥取県) ・OUR徳島7月号に鳥取県「水と緑のオアシスとっとり2013」を掲載 ・9月に3県(奈良県・和歌山県・鳥取県)の広報紙に「マチ★アソビ」を掲載 ・OUR徳島9月号に兵庫県「たびたび城たびin兵庫」を掲載 ・11月に兵庫県の広報紙に「おどる宝島！パスポート」を掲載 ・OUR徳島11月号に和歌山県「プレミア和歌山・わいわい市場」を掲載 ・OUR徳島1月号に奈良県「祈りの回廊」を掲載 ○メールマガジン紙面交換(大阪府・京都府) ・7月に2府(大阪府・京都府)のメルマガに「剣山国定公園50周年」を掲載 ・とくめる(8/23配信)に大阪府を掲載 ・とくめる(12/13配信)に京都府を掲載	当初	0	秘書課

本四高速全国共通料金対応戦略(第1弾)の進捗状況

1)とくしま発信戦略 全国共通料金制度導入により拡大する本県のメリットや魅力について、全国に向けて情報発信を行う。 H26.1末現在

番号	事業名等	事業内容等	進捗状況	予算区分	予算額 (千円)	担当課名
3	吉野川交流推進費	吉野川の魅力を全国に情報発信するため、利根川・筑後川流域との交流、子どもを対象とした吉野川体験事業など、官民一体となって吉野川を通じた交流を推進する。 (事業主体 吉野川交流推進会議)	<ul style="list-style-type: none"> ○吉野川フェスティバル会場において、3大川の交流イベントを開催 時期:7/27 規模:40名 対象範囲:3大川関係者 吉野川フェスへの来場者:県内外から3日間で5万人規模 ○「交流体験inよしのがわ」の実施 時期:7/21(下流)、8/4(上流)、8/18(中流) 規模:各40名 対象範囲:小学生と保護者 ○「筑後川フェスティバル」への参加 熊本県南小国町 10/16~17 23名 ○「利根川に学ぶ渡良瀬大会」への参加 群馬県板倉町 11/8~10 17名 ○ホームページリニューアル ○機関誌の発行 	当初	240	県民環境政策課 県民協働室
4	とくしまロケーション・ブランド発信事業	映像を通じて本県の魅力を全国に発信するため、映画やテレビ等の県内ロケの誘致・支援を行う。	ロケに関する36件の相談(内訳:映画3件、TV番組24件、CM6件、その他3件)を受けるとともに、ロケに関する許認可やロケハン・エキストラ手配など、10件の支援(内訳:TV番組6件、CM4件)を行った。	当初	8,612	観光政策課
5	観光情報提供費	インターネットを活用した観光情報提供システムによる情報発信を行うとともに、県内外の観光案内所等における観光宣伝や全国大会等で配布するための観光宣伝資料の作成を行う。	観光情報サイト「阿波ナビ」で観光スポットのみならず、イベントやおすすめ特集など、旬の観光情報を提供するとともに、観光宣伝資料を県内外の観光施設やイベント会場、コンビニエンスストアなどで配布した。	当初	14,728	観光政策課

本 四 高 速 全 国 共 通 料 金 対 応 戦 略 (第 1 弾) の 進 捗 状 況

1) とくしま発信戦略

全国共通料金制度導入により拡大する本県のメリットや魅力について、全国に向けて情報発信を行う。

H26.1末現在

番号	事業名等	事業内容等	進捗状況	予算区分	予算額 (千円)	担当課名
6	「踊る食感・体感」ま るごと徳島事業 (緊急雇用)	本県への観光誘客を推進し、「観光」と「食」と いった徳島の魅力を全国に向け大々的に情報 発信するため、注目度の高い首都圏での観光 プロモーション等を実施する。	10月11日から14日にかけて東京都港区・東 京ミッドタウンにて首都圏の方々に向けて本県 の物産や観光情報を発信するイベント「第12回 ミッドマーケット～おどる宝島！徳島を感じる4 日間～」を開催。	当初	6,383	観光政策課
7	とくしま県産品認知 度向上事業 (緊急雇用)	東京本部において、とくしま県産品の認知度 向上・販路拡大に向けたデータの収集整理や発 信等、PR活動を行う。	アンテナショップにおける商品の売れ行きの 調査分析を実施。 また、東京都内で徳島県産品を扱っている販 売店等をリストアップし、マップを作成中。	当初	4,074	観光政策課
8	とくしま県産品「地産 知消」推進事業 (緊急雇用)	とくしま県産品の良さをもっと知ってもらい消費 拡大を図る地産知消(知って消費しよう)運動を 推進するため、販路拡大・販売促進に向けた情 報発信等、PR活動の事務を行う。	11月に大谷焼や竹人形づくりなど、体験型の イベントを実施し、アンケートによる県内の状況 調査を実施した。	当初	3,707	観光政策課
9	すだちくんプロモ ーション力強化事業 (緊急雇用)	「すだちくん」のプロモーション力を一層強化す るため、動きやすい「着ぐるみ」、「テーマソ ング」、「ダンス」、「プロモーションビデオ」など、P Rコンテンツを制作する。	○「すだちくん」の全国プロモーション用のコンテ ンツとして、10月には、歌詞を全国公募し制作し た「テーマソング」を、1月には、「ダンス」及び動 きやすい「着ぐるみ」をお披露目した。 ○産地PR動画については、「洋にんじん」、「ハ ウスすだち」、「なす」、「えだまめ」など順次制作 し、ホームページにて公開。	当初	11,000	もうかるブラ ンド推進課

本四高速全国共通料金対応戦略(第1弾)の進捗状況

1)とくしま発信戦略 全国共通料金制度導入により拡大する本県のメリットや魅力について、全国に向けて情報発信を行う。 H26.1末現在

番号	事業名等	事業内容等	進捗状況	予算区分	予算額 (千円)	担当課名
10	高速道路等整備推進広報事業【ゼロ予算事業】	高速道路等の円滑な事業推進を図るため、現場見学ツアーなどを実施するとともに、四国横断自動車道が平成26年度に開通することについて、積極的に広報を行う。	<p>○平成26年度供用に向けた広報活動を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月16日 陸上自衛隊員を対象に、四国横断自動車盛土法面に建設中である津波避難場所の現場見学会 ・6月17日 徳島大学の学生を対象に四国横断自動車道の現場の見学会 ・7月11日 県庁ミニ講座の一環で、四国横断自動車道の事業概要に関する出前講座 <p>○今後も引き続き現場見学会等を開催し、広報活動を実施する。</p>	当初	0	高規格道路課
11	本四高速全国共通料金対応戦略スタートダッシュ事業(徳島戦略的プロモーション事業)	本県の魅力や本四高速共通料金制度を県内外に周知するため、共通の「キャッチコピー」「ロゴマーク」を活用したPRツールを制作し、挙県一致での推進PRを実施する。	<p>「キャッチコピー」と「ロゴマーク」の全国公募を行い、「おどる宝島!とくしま」の「キャッチコピー」、すだちくんに鳴門の渦潮などをあしらった「ロゴマーク」を7月に決定した。</p> <p>「キャッチコピー」と「ロゴマーク」の入ったうちわを作成し、徳島市の阿波踊りで配布したほか、各部局が実施するイベントにおいて配布し制度の周知を図った。</p>	6月補正	2,000	総合政策課 道路政策課
12	本四高速全国共通料金対応戦略スタートダッシュ事業(徳島戦略的プロモーション事業)	本県の魅力や本四高速共通料金制度を県内外に周知するため、関西を中心とした全国紙・有力地方紙等に、県内デザイナーによる斬新な新聞広告を行うなど効果的なPRを実施する。	<p>10月下旬に近畿圏を中心とした新聞広告(4紙)を実施した。</p> <p>次回広告を2月下旬～3月の間で実施予定。</p>	6月補正	4,000	秘書課

本四高速全国共通料金対応戦略(第1弾)の進捗状況

1)とくしま発信戦略 全国共通料金制度導入により拡大する本県のメリットや魅力について、全国に向けて情報発信を行う。 H26.1末現在

番号	事業名等	事業内容等	進捗状況	予算区分	予算額 (千円)	担当課名
13	本四高速全国共通料金対応戦略 スタートダッシュ事業 (徳島戦略的プロモーション事業) (緊急雇用)	本県の魅力や本四高速共通料金制度を県内外に周知するため、本県のマスコットキャラクター「すだちくん」を効果的に活用し、関西圏をはじめ全国へ向けた戦略的なプロモーションを展開する。	<p>「ゆるキャラグランプリ2013」にエントリーし、「すだちくん」が、県内外のイベントをはじめ、学校17校、企業4社、量販店13店、マスコミ出演10回など延べ県内119回、県外11回、合計130回展開し、PRを実施した。</p> <p>グランプリでは、約30万票を獲得し、1,580体中第12位となった。</p> <p>大手飲料メーカーCMや首都圏メディアへの出演依頼があり、CMは2月4日から放送開始。</p> <p>さらに、「すだちくん」のフェイスブックでは、1379件の“いいね！”をいただくとともに、今後オフィシャルサイトを立ち上げる予定。</p>	6月補正	10,000	もうかるブランド推進課
1)とくしま発信戦略		13事業			72,671	

本 四 高 速 全 国 共 通 料 金 対 応 戦 略 (第 1 弾) の 進 捗 状 況

2) 産業振興戦略

全国共通料金制度導入のメリットを最大限に活かした産業振興や、企業誘致を図る。

H26.1末現在

番号	事業名等	事業内容等	進捗状況	予算区分	予算額 (千円)	担当課名
1	地域産業活性化経営支援事業 (うちオンリーワン補助金)	商工業の健全な発展を図るため、商工会、商工会議所等が地域特性を活かし、創意工夫により実施する事業に対して助成を行う。	県において、H25年度事業を6月に採択決定し、現在、各商工団体において事業実施中。	当初	32,585	商工政策課
2	地域産業活性化連携組織対策事業 (うちオンリーワン補助金)	県下中小企業者の連携の促進を図るため、県中小企業団体中央会が創意工夫により実施する事業に対して助成を行う。	県において、H25年度事業を6月に採択決定し、現在、県中小企業団体中央会において事業実施中。	当初	5,387	商工政策課
3	オンリーワン「経済飛躍推進隊」支援事業	経済飛躍の実現を図るため、商工団体の若手経営者や女性経営者が行う協働・連携事業等に対して支援を行う。	県において、H25年度事業を6月に採択決定し、現在、各商工団体において事業実施中。	当初	5,387	商工政策課
4	企業立地促進事業費補助金	企業立地を促進し、雇用の場の確保、地域経済の活性化を図るため、県内で工場等を整備する企業に対し補助を行う。	実績報告のあった2社(41, 374千円)に交付済み(今年度9社交付予定)。	当初	600,000	企業支援課
5	情報通信関連事業立地促進費	情報通信関連事業所の立地を促進し、雇用の場の確保を図るため、県内にコールセンター等が事業所を新設する際に補助を行う。	実績報告のあった1社(2, 485千円)に交付済み(今年度8社交付予定)。	当初	150,000	企業支援課
6	ふるさとクリエイティブ・SOHO事業者誘致事業補助金	過疎地域の産業振興と活性化を図るため、県外のSOHO事業者等が県内過疎地域に事業所を開設する際に補助を行う。	現在操業中の6社に交付予定。	当初	1,000	企業支援課
7	企業立地資金貸付金	企業立地を促進し、雇用の場の確保、地域経済の活性化を図るため、県内に工場等を立地する企業に対し、金融機関との協調により融資を行う。	4月1日に金融機関3社に計9, 003千円の預託を実施。 ※金融機関から企業に対し、3社計333, 942千円を融資。	当初	60,000	企業支援課

本四高速全国共通料金対応戦略(第1弾)の進捗状況

2)産業振興戦略

全国共通料金制度導入のメリットを最大限に活かした産業振興や、企業誘致を図る。

H26.1末現在

番号	事業名等	事業内容等	進捗状況	予算区分	予算額 (千円)	担当課名
8	特定地域企業立地資金貸付金	企業立地を促進し、雇用の場の確保、地域経済の活性化を図るため、発電用施設の周辺地域に立地する企業に対し、金融機関との協調により融資を行う。	4月1日に金融機関1社に50,722千円の貸付を実施。 ※金融機関から企業に対し、202,890千円を融資。	当初	80,723	企業支援課
9	企業立地促進資金貸付基金等積立金	特定地域企業立地資金貸付金の金融機関からの償還金、運用益を基金に積立を行う。	金融機関からの償還3,570千円(1月31日)、50,722千円(年見込) 基金運用益の積立金176千円(11月29日)、238千円(年見込)	当初	81,411	企業支援課
10	立地指導対策費	雇用の場の確保、地域経済の活性化を図るため、企業誘致フォーラム等の企業誘致活動を実施する。	「とくしまビジネスフォーラムin東京」を11月に実施、「とくしまビジネスフォーラムin大阪」を2月に実施予定。	当初	33,851	企業支援課
11	成長分野集積プログラム【ゼロ予算事業】	県外の成長分野企業の立地を促進し、雇用の場の確保、地域経済の活性化を図るため、企業立地補助制度の面積要件を緩和を行う。	企業訪問、ホームページ、都市圏での見本市やビジネスフォーラム等によりPR活動を行っている。	当初	0	企業支援課
12	戦略的企業誘致プロモーション事業(緊急雇用)	企業支援コーディネータの設置や県、市町村、関係団体で構成する企業誘致プロモーションチームが都市圏の見本市に共同出展し、本四高速共通料金等の立地環境のPRや誘致を促進する。	関西で立地環境等のPR活動を実施するため、近畿圏にコーディネータを1名配置。 10月に大阪で開催された見本市に県ブースを設置し、PR活動を実施。	当初	10,000	企業支援課
13	徳島県新商品お試し購入強化事業	頑張る中小企業や社会的課題に積極的に取り組む企業を応援し、開発意欲を高めるとともに、高品質な新商品の開発を加速するため、県が新商品等を率先購入し、有効性や品質を実証することにより、販路拡大を強力に支援する。	新事業分野開拓企業枠にて特に新規性に優れた新商品について本年度は2件認定。 また、頑張る中小企業の新商品を県において率先して購入した。(8企業8製品)	当初	10,000	企業支援課

本 四 高 速 全 国 共 通 料 金 対 応 戦 略 (第 1 弾) の 進 捗 状 況

2) 産業振興戦略

全国共通料金制度導入のメリットを最大限に活かした産業振興や、企業誘致を図る。

H26.1末現在

番号	事業名等	事業内容等	進捗状況	予算区分	予算額 (千円)	担当課名
14	LEDトータルサポート拠点機能強化事業	県内企業のLED応用製品開発をトータルサポートするとともに、県外企業による工業技術センターの利活用を促進する。	LED応用製品の光学性能から安全・環境性能までワンストップで評価できる体制を構築し、LED関連企業の新製品開発を支援する。 ・H25年4月、工業技術センター内に「LEDサポートセンター」を開設。 ・安全・環境性能評価機器を5基導入予定。 ・ISO17025に基づく「LED測光試験所」の認定取得を目指す(H25. 11. 25登録申請済)。	当初	53,600	新産業戦略課 工業技術センター
15	LEDネクストステージ推進事業	世界有数のLEDメーカーが立地する優位性を活かし、LEDバレイ構想を推進するため、ネクストステージ行動計画に基づき各種施策を実施する。	ネクストステージ行動計画に基づく各種施策を実施中。	当初	5,219	新産業戦略課
16	徳島県LED応用製品普及加速化事業	県内LED関連企業が開発したLED応用製品の率先購入による企業の販路拡大と更なる企業集積を促進するとともに、関西広域連合新商品調達認定制度による製品登録を推進する。	県内LED関連企業のLED応用製品を設置事例として広くPRする。 ・購入希望審査会を12月17日に開催(4社7製品の購入を決定)。 ・各部局に対し本年度2回目の製品購入希望を照会(H26. 1予定)。	当初	10,000	新産業戦略課
17	次世代産業戦略的創出事業	成長が期待される環境・エネルギー分野において次世代産業を創出するため、リチウムイオン電池を活用した新産業モデルの創出の検討や炭素繊維強化プラスチック関連技術の可能性調査等を実施する。	炭素繊維強化プラスチック関連の企業連携交流会や最新技術の情報提供を行うフォーラムを開催する。 ・炭素繊維活用フォーラムを7月5日に開催。 ・CFRP技術習得課題解決型研修を8月～3月にかけて全17回実施予定。	当初	1,500	新産業戦略課
18	課題解決型農工ベストマッチ創出モデル事業	農林畜水産の現場が抱える生産性向上等の課題について、情報の共有やものづくり技術を活用した提案などマッチングを図る。	本事業の情報提供を希望する機械金属関連企業を31社登録。 農林漁業の生産現場の課題・ニーズを抽出し(27課題)、機械金属関連企業との情報交換会を実施(8回)。	当初	1,000	新産業戦略課

本 四 高 速 全 国 共 通 料 金 対 応 戦 略 (第 1 弾) の 進 捗 状 況

2) 産業振興戦略

全国共通料金制度導入のメリットを最大限に活かした産業振興や、企業誘致を図る。

H26.1末現在

番号	事業名等	事業内容等	進捗状況	予算区分	予算額 (千円)	担当課名
19	ものづくり企業販路 開拓総合支援事業	本県ものづくり企業の販路開拓を支援するため、大手企業との商談会開催をはじめ、近畿・四国の広域商談会や全国規模の展示会への出展支援等を行う。 (事業主体 とくしま産業振興機構(県補助))	○「徳島県ものづくり新技術展示商談会 inHONDA」を9月11日に(株)本田技術研究所において開催(出展企業:30企業・団体)。 ○「モノづくり受発注広域商談会」を9月27日に大阪市において四国及び近畿の支援財団と共同で開催(発注企業 50社、受注企業242社)。 ○「四国ビジネスマッチング2013(広域商談会)」を11月14日にアスティとくしまにおいて四国内の支援財団と共同で開催(発注企業46社、受注企業141社)。	当初	26,062	新産業戦略課
20	地場産業総合サポート事業	機械金属、木工業の組合が取り組む地域ブランド化を目指した新商品開発、販路開拓等を支援する。 (事業主体 地場産業団体(県補助))	各団体において関西の大規模展示会等、県内外の見本市・展示会へ出展するとともに、地域ブランド化のための新商品を開発中。	当初	9,031	新産業戦略課
21	ステップbyステップ・ キャリア形成支援事業	本県経済の活性化と発展を目指すため、雇用のミスマッチ、入社後の早期離職、中小企業の人材不足などの課題に対し、各成長段階に応じた「職業観の育成」を行い、産業人材の育成を図る。 * 事業の一部として、大学生向けUターンセミナー開催(時期:平成25年度大学3年生の採用活動解禁後)	「とくしま学生Uターン就職ガイダンス」を12月4日に大阪市内で開催した。 ・参加企業27社 ・参加学生62人 ・各ブース学生訪問数220人	当初	2,000	労働雇用課 産業人材育成センター
22	とくしまジョブステーション運営費	「とくしまジョブステーション」において、就労支援から職業紹介までの雇用面での支援をワンストップで提供するとともに、住宅確保の情報提供など生活面での支援を実施し、雇用のトータルサポートに取り組む。 * 事業の一部として、Uターン対策、ふるさと回帰フェアへの参加	10月26日に「中国四国もうひとつのふるさと探しフェアin大阪2013」に参加し、Uターンについての求人・求職情報を求職者に提供した。	当初	17,200	労働雇用課

本 四 高 速 全 国 共 通 料 金 対 応 戦 略 (第 1 弾) の 進 捗 状 況

2) 産業振興戦略		全国共通料金制度導入のメリットを最大限に活かした産業振興や、企業誘致を図る。				H26.1末現在
番号	事業名等	事業内容等	進捗状況	予算区分	予算額 (千円)	担当課名
23	「食の宝島とくしま」 戦略推進事業	県産品の振興による地域産業の活性化を促進するため、アンテナショップを活用した市場調査、食と観光の連携によるイメージ戦略の推進、県産品の利用キャンペーンを実施する。	ポータルサイトの作成、県産品利用県民運動の推進については、関係機関と調整中。 産地・加工場見学ツアーを10月に開催。 阿波とくしまアンテナショップ第2号店を平成25年12月11日付けで認定を行った。	当初	8,500	観光政策課
24	にし阿波・サテライト オフィス誘致促進事業 (緊急雇用)	県外のICT企業等のサテライトオフィスをにし阿波へ誘致促進するため、地域の魅力発信、視察ツアーの受入支援、空き家等の物件調査等の事業を行う。	サテライトオフィス誘致に向けて視察ツアーや地域との交流促進行事への協力、空き家調査等を実施するほか、サテライトオフィス特集記事を「マルシェ通信」に掲載し配布するなど、地域の魅力発信を行った。	当初	3,255	西部総合県 民局 企画振興部 (美馬)
25	にし阿波・特産品販 売促進事業 (緊急雇用)	地域ならではの魅力ある特産品を発掘し、「にし阿波」の魅力の1つとして情報発信することにより、特産品の振興、ひいては特産品を扱う地元業者の育成・活性化に繋げる。	「にし阿波秋の物産展～今年は四国の右下もおどろき～」を開催(10/2～11/4)。 第3回「四国の右下」食博覧会への参加(11/16～17)。	当初	3,402	西部総合県 民局 企画振興部 (美馬)
26	にし阿波・ビジネス創 出支援事業 【ゼロ予算事業】	「にし阿波」における雇用の場の拡大や産業の活性化につなげるため、地域資源活用や農工商連携など起業促進に関する各種施策や制度情報の提供、相談対応、情報交換の機会等を設け、ビジネスの創出や拡大を支援する。	にし阿波の観光土産品マッチング商談会の参加者を中心とした、にし阿波の中小製造事業者に対するセミナーを開催	当初	0	西部総合県 民局 企画振興部 (美馬)
27	にし阿波・地域活性 化促進事業 (緊急雇用)	「にし阿波」の魅力ある自然や特産物などの資源を活かした事業を公募し委託することにより、地域の振興と経済の活性化を図る。	自転車レース「第1回にし阿波シクロクロス大会」を2/16にぶぶるパークみかも(於:東みよし町)で新規開催予定。その他、圏域内におけるイベント好適コース開拓のための調査実施中。	当初	4,700	西部総合県 民局 企画振興部 (三好)

本四高速全国共通料金対応戦略(第1弾)の進捗状況

2)産業振興戦略		全国共通料金制度導入のメリットを最大限に活かした産業振興や、企業誘致を図る。				H26.1末現在
番号	事業名等	事業内容等	進捗状況	予算区分	予算額 (千円)	担当課名
28	未分譲産業団地有効活用促進事業【ゼロ予算事業】	西長峰工業団地の未分譲区画について関西方面をはじめ大都市圏などへのPRの強化に努め誘致促進を図る。	県内各事業所(工業用水ユーザー約20社)を訪問し、県外企業の立地に係る情報提供を働きかけた。また、商工労働部と連携して誘致促進を図っている。	当初	0	企業局 経営企画戦略課
29	本四高速全国共通料金対応戦略スタートダッシュ事業(企業誘致戦略的発信事業)(緊急雇用)	本四高速への全国共通料金制度の導入に向け、より一層の積極的な企業誘致活動を行うため、立地意向に関するアンケート調査を実施するとともに、大きく向上する立地環境について、都市圏の展示会等でPRを行う。	関西の成長分野の企業を中心に1,000社アンケート調査を実施。 11月に名古屋で開催された見本市に県ブースを設置し、PR活動を実施。	6月補正	7,500	企業支援課
30	にし阿波ブランドステップアップ事業【ゼロ予算事業】	にし阿波のマッチング商談会参加者を中心とする地元業者の販売力(新商品企画開発、販売チャンネルの拡大等)の底上げを図り、魅力ある商品で来訪者増へ繋げる。	にし阿波の観光土産品マッチング商談会の参加者に対し、事後フォローによるニーズの把握に努め、ニーズを満たす研修会を実施予定。 各種団体が行う研修会等事業の情報提供を行っている。	6月補正	0	西部総合県民局 企画振興部(美馬)
2)産業振興戦略		30事業			1,223,313	

本 四 高 速 全 国 共 通 料 金 対 応 戦 略 (第 1 弾) の 進 捗 状 況

3) 観光交流戦略

観光客の受入態勢整備や制度導入後のさらなる観光交流促進を図る。

H26.1末現在

番号	事業名等	事業内容等	進捗状況	予算区分	予算額 (千円)	担当課名
1	徳島にゆかりのある「人材の発掘」実証実験事業	県外の人材と本県との連携・交流のさらなる活性化を図り「ふるさと徳島」に向けた施策・事業を創出するため、首都圏や関西圏等で活躍する「徳島にゆかりのある若手県人」の発掘及びネットワーク化を推進する。	首都圏や関西圏等に在住する若手県人等で組織する「徳島にゆかりのある団体」が実施する「ふるさと徳島」の活性化に繋がる「プロジェクト事業」に対し、支援(9事業)。	当初	2,350	総合政策課
2	阿波の国ネットワーク推進事業	観光誘客や県産品の振興、県外各地域との交流の活性化を図るため、全国各地に広がる県人会の人的ネットワークを活用し、幅広い世代の県外在住者に対し、本県の豊かな自然・文化を積極的にPRを行う。	全国徳島県人会連合会総会(8月9日)をはじめ、全国各地で行われている県人会総会等の場において、本県の施策や観光物産等のPRを行い、県外からの誘客や販路拡大の促進を図った(25地域)。	当初	3,782	総合政策課
3	お江戸de徳島観光プロデュース実証実験事業	デザインに感度の高い一般消費者・旅行者に対して、徳島らしい新たな観光イメージを訴求するため、首都圏のクリエイターと地場産業や伝統文化の担い手が共同して、センスを感じる商品やサービスを企画する「交流マッチングツアー」やワークショップを実施する。	10月18日～20日に首都圏のクリエイターを招き、伝統的な食や生活文化に着眼した県内ツアーを実施し、徳島の地場産業や伝統文化の担い手と交流するきっかけづくりを行った。最終日には神山町において、交流イベント「mEATing TOKUSHIMA」を開催した。	当初	1,235	東京本部
4	クリエイティブ・ツーリズム創造事業(緊急雇用)	首都圏のクリエイターと連携して、デザインに対して感度の高い人をターゲットとしたトラベル誌を編集・発行するとともに、掲載地域を巡る着地型旅行商品を企画、販売する。	10月19日に「ナガオカケンメイ」氏を招き、キックオフイベントを実施し、その参加者の中から、24名の受講生を選考し、12月まで3回のワークショップを経て、地域の「個性」や「らしさ」に着目したトラベル誌を作成中。	当初	8,196	東京本部
5	田舎と都会の絆事業(緊急雇用)	中山間地の農家と都会の少人数グループを農作物の共同購入を介して繋げる。また、購入者の農家訪問などの交流事業を行う。	神山町などの集落とサテライトオフィスの東京本社等を結んだ農産物等の販売及び交流事業「ゆい～田舎と都会のごきんじょづきあい～」が10月から開始。「おすそわけボックスとゆいブック」の行き来により、交流が始まっている。	当初	4,274	東京本部

本 四 高 速 全 国 共 通 料 金 対 応 戦 略 (第 1 弾) の 進 捗 状 況

3) 観光交流戦略

観光客の受入態勢整備や制度導入後のさらなる観光交流促進を図る。

H26.1末現在

番号	事業名等	事業内容等	進捗状況	予算区分	予算額 (千円)	担当課名
6	徳島交流大使活動 支援事業 【ゼロ予算事業】	徳島交流大使に、これまで以上の支援活動を行ってもらうため、本県の状況や新たな施策などについて理解を深めてもらう「徳島交流大使スキルアップセミナー」を開催する。	2月1日(奈良)、2月19日(大阪・神戸)、2月25日(京都)に、「徳島交流大使スキルアップセミナー」を開催予定	当初	0	大阪本部
7	阿波おどりを活用した観光誘客促進事業	関西地域からのさらなる観光誘客の促進を図るため、本県にゆかりのある方々に着目し、阿波おどりを活用した「より身近に集まることのできる場」を創出し、「徳島県の応援団」として活躍してくれる人材を育成する。	5月26日から7月21日までに大阪市内において計5回の阿波おどり教室を開催し、延べ231名が参加。	当初	2,400	大阪本部
8	自然公園等施設整備事業 －公共事業－	安全安心で快適な利用環境の確保のため、公園施設の再整備や長寿命化対策を実施する。 見ノ越駐車場再整備、四国のみち再整備等	見ノ越駐車場再整備については、西側立体駐車場部分の再整備を実施。 四国のみち再整備における県補助事業(阿波市の切幡寺トイレ再整備)について、環境省、阿波市と協議をしながら工事実施中で年度内完成予定。	当初	18,750	環境首都課 自然環境室
9	自然公園等維持管理事業 (うち公園施設修繕)	自然公園内の公園施設や景観の保護とその適正な利用の確保のため、施設等の維持修繕を実施する。 剣山登山道(木道)・頂上標識整備等	5月に剣山山頂の木道、テラス、木製階段において、歩行に支障のある箇所を修繕済み(釘の浮き、ボルトのゆるみ、破損等)。 5月に頂上の破損していた案内板3枚を修繕済み。 鳴門公園の施設補修の実施予定(小規模補修)	当初	2,100	環境首都課 自然環境室
10	自然公園等維持管理事業 (うち鳴門公園渋滞対策)	GW等の多客時期の自然公園における渋滞解消のため、警備員の配置や案内看板の設置を行い快適な利用環境を確保する。	GW期間中とお盆期間中に警備員の配置を行うことにより快適な利用環境の確保に努めた。 4月に環境省実施のトイレ完成に伴う周辺対策を実施した。	当初	900	環境首都課 自然環境室

本四高速全国共通料金対応戦略(第1弾)の進捗状況

3)観光交流戦略

観光客の受入態勢整備や制度導入後のさらなる観光交流促進を図る。

H26.1末現在

番号	事業名等	事業内容等	進捗状況	予算区分	予算額 (千円)	担当課名
11	とくしまエコサポート事業 【県民との協働推進事業】	遍路道等における環境美化を促進するため、関係団体との連携のもと、粗大ゴミ・大量投棄ゴミの撤去を協働して行うなど、主体的に取り組む市町村を支援する。	12月1日、地元住民等121名の参加により、南阿波サンラインの3区域において約15トンのゴミを回収した。	当初	0	環境整備課
12	魅力あふれる「阿波とくしま」観光誘客促進事業	本県への観光誘客を促進するため、魅力ある旅行商品を造成する旅行会社や影響力のあるメディアとの連携を図る。	旅行エージェントに対して旅行商品造成の支援を行うとともに、マスメディアやタウン誌等の取材のアテンド等を継続的に実施している。	当初	15,290	観光政策課
13	体験型観光ステップアップ事業	体験型観光の先進地として、さらなる飛躍を図るため、県下全域での受入態勢を構築するなど、体験型観光のブランド化を図る。	体験型観光の飛躍のため、南阿波、にし阿波が行う県外への営業活動を支援するとともに、今後、徳島県東部地域の受入体制構築のための研修会などの開催を予定。	当初	1,500	観光政策課
14	もてなしの阿波とくしまPR事業	周遊性の向上による観光誘客を図るため、四国他県等と連携し、パスポート形式のスタンプラリー等を実施する。	スタンプを集めることで景品がもらえるスタンプラリー機能と、割引などの特典サービスが受けられるクーポン機能を併せ持つパスポート型スタンプラリー「おどる宝島！パスポート」を10月からスタートした。	当初	5,500	観光政策課
15	みんなでにぎわいづくり事業	観光客の周遊性・滞留性を高め、交流人口の拡大を図るため、官民一体となった受入態勢の充実を図る。	市町村の実施するイベントなどに助成を行うほか、来年度の本四高速全国共通料金の導入に向け国定・国立公園周年活用事業などを実施中。	当初	11,800	観光政策課
16	コンベンション誘致促進事業	本県への交流人口の増加を図るため、コンベンション情報の収集・分析を行うとともに、郷土芸能の招聘に対し助成を行い、コンベンション誘致を促進する。	徳島県大会等誘致促進費補助金の助成要件に該当する50件余りの全国大会等への助成を実施予定。 また、県を挙げた受け入れ態勢を構築するため、7月26日、「とくしまコンベンション誘致推進協議会」が設立し、徳島コンベンション支援ガイドを作成し、商談会等で徳島開催への誘致活動を実施。	当初	16,350	観光政策課

本 四 高 速 全 国 共 通 料 金 対 応 戦 略 (第 1 弾) の 進 捗 状 況

3) 観光交流戦略

観光客の受入態勢整備や制度導入後のさらなる観光交流促進を図る。

H26.1末現在

番号	事業名等	事業内容等	進捗状況	予算区分	予算額 (千円)	担当課名
17	広域滞在型観光整備推進事業	「にし阿波～剣山・吉野川観光圏」における観光客の来訪滞在を促進するため、民間事業者等が連携・協働して行う誘客や滞在促進事業を支援し、広域的な滞在型観光を積極的に推進する。	平成25年5月16日付けで観光地域づくりプラットフォームである一般社団法人そらの郷に対し、西部総合県民局が補助金交付決定済み。 誘客や滞在等に繋がる滞在プログラム企画造成や宿泊サービス改善向上等事業を支援し、推進している。	当初	4,750	観光政策課
18	四国ツーリズム創造機構負担金	四国4県とJR四国など民間企業が、共同で広報・宣伝活動や誘致活動等を行い、四国及び徳島の観光イメージの強化を図る。 (事業主体 四国ツーリズム創造機構)	今年度からの3カ年計画である「四国観光交流戦略」を策定し、国内大都市圏などからの誘客戦略、東アジア・欧米豪からの誘客戦略、四国の魅力を高める戦略の取組みを実施している。	当初	35,000	観光政策課
19	瀬戸内ブランド推進協議会負担金	瀬戸内海に隣接する7県が連携し、「瀬戸内ブランド」の形成を目指し、連携してブランドサイトの運営やプロモーション活動等を実施する。 (事業主体 瀬戸内ブランド推進連合)	「瀬戸内プロモーション事業」として、10月5日から毎週末7県域内での瀬戸内ブランドEXPOを開催する他、11月には日本百貨店での物販及東京スカイツリーでのPRを実施。サントリー(株)を始め36社87商品を瀬戸内ブランド商品として認定し、瀬戸内の魅力ある商品としてHP他で紹介。その他、テーマツーリズムとして、7県を周遊する旅行商品に対して助成し、域内外からの観光誘客を促進。	当初	5,508	観光政策課
20	阿波おどり活性化支援事業	本県の誇る伝統芸能である「阿波おどり」を通じて、観光客の誘致を促進する。	阿波おどりをより充実した内容とするため、コンビニエンスストアによる前売券の販売や、吉野川河川敷駐車場等から会場付近へのシャトルバスの運行による交通渋滞緩和等の取組みを行った。	当初	10,711	観光政策課

本 四 高 速 全 国 共 通 料 金 対 応 戦 略 (第 1 弾) の 進 捗 状 況

3) 観光交流戦略

観光客の受入態勢整備や制度導入後のさらなる観光交流促進を図る。

H26.1末現在

番号	事業名等	事業内容等	進捗状況	予算区分	予算額 (千円)	担当課名
21	春の阿波おどり支援事業	「春の阿波おどり」として親しまれている「はな・はる・フェスタ」を、県内外へ発信できる観光資源として育成する。	「はな・はる・フェスタ2013」を4月19日から21日まで開催。 主なイベント内容は、阿波おどり、徳島ラーメン博覧会、はな・はるスイーツ展、物産展&グルメストリート、工芸・芸能体験コーナー等。	当初	12,000	観光政策課
22	家族で楽しむ！！徳島アニメまつり事業	冬のにぎわいを創出するため、本県の観光資源である「マチ★アソビ」とはひと味違った地域密着型のアニメイベントを開催する。	家族連れをターゲットにしたアニメイベント「ぷち★アソビ」を平成26年3月に開催する予定。	当初	4,000	観光政策課
23	訪日観光誘致パワーアップ事業	東アジア、東南アジア等からの外国人誘客を図るため、本県の魅力のPRや、情報発信、ツアー造成の促進など、総合的な誘致活動を実施する。	7月17日から8月30日まで計12往復の香港からの国際チャーター便の誘致を実現したほか、東アジア・東南アジアを重点地域に、本県の観光・食のアピールやファミツアーの受け入れ等を行い、本県を組み込んだツアー造成を積極的に働きかけた。	当初	18,000	国際戦略課
24	国際観光推進事業	外国語による観光情報の提供を通じた、外国人観光客の誘致促進や受入態勢を整備する。	台湾での日本の観光物産展や香港旅遊展に出展し、本県の観光・食のPRを実施するとともに、多言語版の観光パンフレットやフリーペーパー等を活用し情報発信を行った。	当初	2,290	国際戦略課
25	明日につながる「教育旅行」推進事業	本県への訪日教育旅行を促進するため、関係機関の連携による受入体制の充実を図るとともに、積極的な誘致活動を実施する。	関係機関と連携し、韓国の美術学校の研修旅行を誘致するとともに、韓国、台湾等に本県の教育旅行をアピールした。	当初	3,000	国際戦略課

本四高速全国共通料金対応戦略(第1弾)の進捗状況

3)観光交流戦略

観光客の受入態勢整備や制度導入後のさらなる観光交流促進を図る。

H26.1末現在

番号	事業名等	事業内容等	進捗状況	予算区分	予算額 (千円)	担当課名
26	関西広域連合分賦金	関西広域連合において、多様な観光資源を生かした広域観光施策に取り組むことで、外国人観光客の関西圏での周遊や滞在を促進する。 (事業主体 関西広域連合)	5月に大阪で開催された食博覧会において、関西広域連合の一員として徳島の食のアピールを行うとともに、9月にはトッププロモーションとして香港で「関西観光展・物産展」等を実施した。 また、KANSAI観光大使の任命などを通じ海外への情報発信に取り組んだ。	当初	1,338	国際戦略課
27	関西国際空港内観光案内所整備運営協議会分担金	関西国際空港を利用する内外の旅行者に対し、ニーズに応じた的確な観光情報を提供するとともに、積極的な観光PRを行う観光案内所を運営する。 (事業主体 関西国際空港内観光案内所整備運営協議会)	関西の各府県・市が連携し、今年度も継続して関西国際空港に多言語対応の観光案内所を設置し、積極的な観光PR、情報提供を行っている。	当初	1,441	国際戦略課
28	神戸淡路鳴門自動車道活用イベント事業 【ゼロ予算事業】	神戸淡路鳴門自動車道関係自治体と本四高速株式会社が共同で、大鳴門橋や明石海峡大橋の管理通路の歩行や登頂体験を行うツアーを実施する。	5月25、26日に明石海峡大橋会場ウォークを実施(参加者:1,993人)。 7月27、28日に夏の2橋(明石海峡大橋・大鳴門橋)まるごと体験ツアーを実施(参加者:338人)。 9月28、29日に秋の2橋(明石海峡大橋・大鳴門橋)まるごと体験ツアーを実施(参加者:265人)。	当初	0	道路政策課
29	高速道路利活用促進事業 【ゼロ予算事業】	地域社会の活性化を図るため、高速道路事業者と連携して、徳島自動車道等のサービスエリアやパーキングエリアにおいて、観光パンフレット等の設置、観光PRイベントの開催を行う。	「徳島自動車道ふれあいキャンペーン」を10月12日に開催。	当初	0	高規格道路課

本四高速全国共通料金対応戦略(第1弾)の進捗状況

3)観光交流戦略

観光客の受入態勢整備や制度導入後のさらなる観光交流促進を図る。

H26.1末現在

番号	事業名等	事業内容等	進捗状況	予算区分	予算額 (千円)	担当課名
30	県南まるごとキャンパス推進事業	活気ある地域づくりと若者の地域定着を図るため、地域における大学の授業の実施や、本四高速共通料金制度を見越してのゼミ活動誘致を推進し、地域と大学との連携を促進する。	7月と11月に愛媛大学による「森林・林業ゼミ合宿」を実施。 8月と9月にそれぞれ阿南工業高等専門学校と愛媛大学による土木工事現場の現場研修等を行うゼミ合宿を実施。 四国大学、文理大学及び徳島大学が地域振興、防災など5項目の調査研究(美波町)を実施中。	当初	2,000	南部総合県民局 経営企画部(美波)、産業交流部(美波)、県土整備部(阿南)、津波減災部
31	「四国の右下・ITふるさと村」プロジェクト推進事業	本四高速共通料金制度の機を捉えて、サテライトオフィスの定着と、更なる誘致拡大を目指すとともに、サテライトオフィスの持つ情報発信力を活用し、「四国の右下」の魅力を全国・世界に向けて発信するため、地域ぐるみで県南ならではの取組みを実施する。	H25年度誘致実績 サテライトオフィス 2社(計3社)、起業 3社 サテライトオフィス誘致パンフレットの作成(3,000部) IT講座の開催 5月、8月、11月 計3回 学校出前授業の開催 7月～12月 計4回等	当初	1,000	南部総合県民局経営企画部(美波)
32	四国の右下広域情報発信事業	共通料金制度による効果発現を確実なものとし、四国東南部への観光入り込み客数の増加につなげるため、世界ジオパークに認定された知名度の高い観光地である室戸岬を含む高知東部と協働し、広域的な観光情報の発信を行うことで、徳島県南部を経由して室戸岬及び高知市に向かう又はその逆の観光周遊ルートを提案する。	四国東南部における観光情報の精査・選別を行い、観光ルートマップを作成予定。	当初	1,000	南部総合県民局 産業交流部(美波)

本四高速全国共通料金対応戦略(第1弾)の進捗状況

3)観光交流戦略

観光客の受入態勢整備や制度導入後のさらなる観光交流促進を図る。

H26.1末現在

番号	事業名等	事業内容等	進捗状況	予算区分	予算額 (千円)	担当課名
33	「四国の右下」ええもんもつとつくらんで事業	南部圏域を代表する自然財産である牟岐大島湾内の「千年サンゴ」や剣山南側斜面(南つるぎ地域)の環境保全と観光資源としての魅力創出を図り、本四高速利用の観光誘客を図る。	「千年サンゴと生きるまちづくり協議会」が主体となり、7月、11月、12月に「千年サンゴ」の保全活動を実施。46名が参加し、オニヒトデ14匹とサンゴ食巻き貝852個を駆除。 「千年サンゴサポーター会員」の募集(6月～現在122名、221千円)。 登山道整備(流木の撤去)、おひさんプロジェクト開催(鹿食害防除ネット設置7/20,10/27,12/8)。	当初	1,500	南部総合県民局 産業交流部(美波) 保健福祉環境部(阿南)
34	「四国の右下」右上がり推進事業(緊急雇用)	共通料金効果を最大限に発揮し関西方面からの観光入込客を増大させ、南部圏域での新たなにぎわいを創出するため、県内外観光物産展等でのPR活動、観光施設での観光客受入体制の一層の充実・強化を図り、地域活性化のための取組みを推進する。 (事業主体 南部管内商工会等)	阿南商工会議所で1人、羽ノ浦町商工会で1人、牟岐町商工会で1人、海陽町商工会で2人を雇用し、イベント開催、ポスター・パンフレット作成や物産等のPR活動を実施。	当初	14,553	南部総合県民局 産業交流部(美波)
35	「四国の右下」観光振興事業(緊急雇用)	南部圏域内における未発掘の観光資源を掘り起こし、地域の魅力度を高めるとともに、共通料金制度による県外からの観光入り込み客増大を図るため、観光パンフレットやPRグッズの作成・配布を行い、「四国の右下」を県内外に広くPRする。	パンフレットやPRグッズの配布や、南部圏域内の観光資源の掘り起こし、ブログでの発信など、「四国の右下」のPRを実施。 県南パンフレットの更新・増刷、PRグッズとして帽子の作成を実施。	当初	4,605	南部総合県民局 産業交流部(美波)
36	体験型観光推進事業(緊急雇用)	共通料金制度による南部圏域への観光入り込み客の増大を見据え、南部圏域における「体験型観光」による地域振興を一層推進するため、個人向け商品の開発や農林漁家民宿の開業促進等を実施するとともに、インストラクターや観光ガイドの育成に取り組む。 (事業主体 南阿波よくばり体験推進協議会)	体験プログラムのコーディネートのほか、インストラクターや観光ガイドの育成を実施。 4月に首都圏の教育旅行支店を対象によくばり体験のPR活動を実施。	当初	8,752	南部総合県民局 産業交流部(美波)

本四高速全国共通料金対応戦略(第1弾)の進捗状況

3)観光交流戦略

観光客の受入態勢整備や制度導入後のさらなる観光交流促進を図る。

H26.1末現在

番号	事業名等	事業内容等	進捗状況	予算区分	予算額 (千円)	担当課名
37	「四国の右下」観光登山情報発信事業 (緊急雇用)	南つるぎで行われている登山ルート整備活動の情報等を中心に、南部圏域における山岳部の観光資源の魅力を観光登山を中心に圏域内外へPRし、共通料金制度を絶好の機会として捉え、南部圏域への更なる誘客を促進する。 (事業主体 株式会社四季美谷温泉)	WEBでの情報発信(4月～6月の間に21件)や、ノベルティグッズ(ウォーキングポーチ)の作成等を実施。	当初	3,161	南部総合県民局 産業交流部 (美波)
38	漁船等を活用した遊覧観光連携推進事業 (緊急雇用)	共通料金制度の効果を最大限に発揮し南部圏域への観光入り込み客数の増大を図るため、「室戸阿南海岸国定公園」指定の風光明媚な海岸線と漁業が盛んな地域特性を活かして行われている漁船等を活用した遊覧観光についてPR活動を行うとともに、他の観光事業者との連携等、観光客受入体制の増強を図る。 (事業主体 日和佐漁業者会)	船舶及びガイドの手配、窓口業務などを通じて、遊覧観光の円滑な受入体制の整備を図るとともに、WEB上でのPR活動を実施。 「親子田植え体験ツアー」(4月)、「美波DE海CON」(6月)の開催に協力。こどもの日子供30人クルージング無料招待イベント(5月)の実施。そごうの朝市にてパンフレットを配布(10月)。	当初	2,730	南部総合県民局 産業交流部 (美波)
39	南阿波サンライン活性化促進事業 (緊急雇用)	本四高速の料金一律化に際し、南阿波サンラインの豊かな自然体験をコンセプトに、自然環境をテーマとした観察会などイベントの開催、HP等を活用したPR、その他「南阿波サンライン活性化協議会」等でのアイデアを実施し、活性化を図る。 (事業主体 (株)あわさんさん、(株)ノアむぎ2000)	四国の右下アウトドアフェス2013with野田知佑(7月27・28開催、参加者73人、南阿波サンラインモビレージ) Spring-Live2013 in Mobillage(4月6日、参加者55人、南阿波サンラインモビレージ) にこにこ市(8月4日、参加者130人、モラスコムぎ) リーフチェック(10月29日、参加者9人)	当初	4,661	南部総合県民局経営企画部(美波)
40	南阿波サンライン活性化支援事業 (緊急雇用)	本四高速の共通料金制度に際し、「南阿波サンライン活性化協議会」の開催、ビューポイントマップ、HP等を活用したPR、景観保全、その他「活性化協議会」等でのアイデアを実施し、活性化を図る。	南阿波サンライン活性化協議会 (7月1日開催、参加者28人、室戸ジオパーク推進協議会の柴田博士講演) 南阿波サンラインPR幟・パネル印刷	当初	2,083	南部総合県民局経営企画部(美波)

本四高速全国共通料金対応戦略(第1弾)の進捗状況

3)観光交流戦略

観光客の受入態勢整備や制度導入後のさらなる観光交流促進を図る。

H26.1末現在

番号	事業名等	事業内容等	進捗状況	予算区分	予算額 (千円)	担当課名
41	New-谷型6次産業支援事業 (緊急雇用)	「本四高速全国共通料金制度」を見据え、大手企業等との連携による「販路拡大」に向けた取組を進め、丹生谷地域ブランドの向上や需要拡大とともに、交流人口の増大による地域活性化を図る。	丹生谷地域の特産品である木頭ゆずの販路拡大に向け、東京にて「木頭ゆずフェア(11/21~27)」の開催や、特産品のパンフレットの作成。 情報発信として、10月にナカまつりで特産品PRコーナーを設置。	当初	2,581	南部総合県民局産業交流部(美波)
42	きりり「にし阿波」魅力発信事業 (緊急雇用)	「にし阿波」圏域の魅力を県内外に向けて情報発信し、来訪者による観光交流をより一層進め、にぎわいの創出を図る。	「にし阿波」の魅力を発信するパンフレットやポスターを作成・配布するとともに、県庁ロビーや徳島県人会連合会総会など様々な機会を利用して、積極的なPRを実施中。	当初	3,400	西部総合県民局 企画振興部 (美馬)
43	「にし阿波お勧めビューポイント」PR事業 【ゼロ予算事業】	日本の原風景が豊富に存在する「にし阿波観光圏」への来訪滞在の増加につなげるため、風景のすばらしい地点として発掘・集約した「にし阿波お勧めビューポイント」をホームページ、パネル展の開催等で広くPRする。	・ホームページ、パンフレットの配布による情報発信。 ・ビューポイントパネル展をアスティとくしま及び徳島県人会連合会総会で実施。 ・ビューポイント写真展を脇町うだつの町並み「藍蔵」、フジグラン北島、県庁県民ホール、中日ビル(愛知県名古屋)他で実施。	当初	0	西部総合県民局 企画振興部 (美馬)
44	「にし阿波ぐらし」促進事業 【ゼロ予算事業】	「にし阿波」への移住・交流人口の増加を図るため、関係者との課題検討や情報交換の機会増により連携を強化し、農家民宿や空き家・廃校舎利用の体験型宿泊への取り組み等の情報発信を行う。	市町担当者との情報共有に努め、交流移住対策についての課題の共有及び連携した取組を実施(つるぎ町古民家の利活用につき、町と連携・協議し、空き家バンクへの登録に至った事例など)	当初	0	西部総合県民局 企画振興部 (美馬)
45	高速道路利用者への「にし阿波」PR事業 【ゼロ予算事業】 【県民との協働推進事業】	「にし阿波」への入り込み客増を図るため、圏域市町や関係団体と連携協働し、パンフレットや常設展示・映像発信等により、にし阿波の魅力をPRする。	吉野川ハイウェイオアシスや道の駅においてビューポイント映像を用いた情報発信 関係団体と連携し、吉野川サービスエリアでの誘客キャンペーンを実施(10月12日)	当初	0	西部総合県民局 企画振興部 (美馬)

本四高速全国共通料金対応戦略(第1弾)の進捗状況

3)観光交流戦略

観光客の受入態勢整備や制度導入後のさらなる観光交流促進を図る。

H26.1末現在

番号	事業名等	事業内容等	進捗状況	予算区分	予算額 (千円)	担当課名
46	「にし阿波～剣山・吉野川観光圏」ブランド化戦略推進事業	「日本の顔」となる「ブランド観光地域」を目指すため、観光圏の「価値」や「魅力」を高め、他の観光地域との差別化を図るとともに、官民が一体となって誘客促進を行う。	国内外からの誘客のため、「にし阿波～剣山・吉野川観光圏」の認知度向上、ブランド化に向けた取組みを実施中。 ・新観光圏ポスターの作成・配布 ・香港での知名度向上に向けた営業活動の実施(6月12日～15日) ・日本旅行業協会(JATA)本部で「四国・にし阿波～剣山・吉野川観光圏観光素材説明会」を開催(9月2日) ・「怪フォーラムinとっとり」に参加(観光PR)(9月15日) ・海外の旅行会社との商談のため、トラベルマート2013に出展(11月27日～29日)	当初	6,000	西部総合県民局 企画振興部 (三好)
47	にし阿波・観光誘客促進事業 (緊急雇用)	県西部への観光旅客の来訪・滞在促進及び圏域内交流人口拡大による地域活性化を図る。	にし阿波体感プログラムイベントや観光PR等の誘客活動を実施。 ・淡路SAキャンペーンへ参加(6月29日) ・大阪ミナミ活性化キャンペーンへの参加(9月28日) ・にし阿波体感プログラムイベントの支援(秋:10月12日～11月4日、冬:2月14日～3月16日開催)	当初	9,100	西部総合県民局 企画振興部 (三好)
48	体験型観光旅行飛躍支援事業 (緊急雇用)	県西部に定着してきた体験型観光の推進に必要な地域リーダーの育成支援や一般旅行客受入に向けた農林漁家民宿許可の取得支援等を行い観光振興に寄与する。	体験型教育旅行の受け入れに合わせて受入家庭への一般旅行客受け入れに向けた研修等を実施、今後、委託事業により地域リーダーの育成や農林漁家民宿許可取得を支援	当初	4,977	西部総合県民局 企画振興部 (三好)

本 四 高 速 全 国 共 通 料 金 対 応 戦 略 (第 1 弾) の 進 捗 状 況

3) 観光交流戦略

観光客の受入態勢整備や制度導入後のさらなる観光交流促進を図る。

H26.1末現在

番号	事業名等	事業内容等	進捗状況	予算区分	予算額 (千円)	担当課名
49	にし阿波・観光地域づくり支援事業 (緊急雇用)	「にし阿波～剣山・吉野川観光圏」認定等西部圏域の観光振興の好機を捕らえ、住民参加による観光地域づくりへの協力やイベントの開催支援等を行い観光振興を図る。	平成26年3月からの実施計画であり、支援対象となる観光圏事業のとりまとめを実施中	当初	1,508	西部総合県民局 企画振興部 (三好)
50	観光地域づくりプラットフォーム体制支援事業 (緊急雇用)	「にし阿波観光圏」の新たなステージを迎えるにあたって、体験型教育旅行や国内外からの誘客の更なる推進を図ることにより、観光産業の底上げひいては地域振興に資する。	官民一体となった誘客・観光地域づくりを推進中。 ・体験型観光パンフレットの作成 ・関西等からの体験型観光誘客に向けた営業活動の実施(7月、11月、12月) ・関西レジャー記者等の招聘(7月4日～5日)	当初	18,450	西部総合県民局 企画振興部 (三好)
51	ドリンクラリー事業	組合主催の飲み歩き事業である「ドリンクラリー」の実施により徳島市への集客増を図り、さらには新しいお店発見と徳島市中心街の魅力再発見を促し、街の活性化につなげる。 (事業主体 徳島県社交飲食生活衛生同業組合)	約30店舗の参加のもと6月に開催し、徳島市中心街の魅力再発見と活性化を図った。	-	-	安全衛生課
52	学校を拠点とした地域国際理解教育推進事業	国際交流を通じて児童生徒の国際感覚の醸成や語学力向上を図るため、県立学校における国際教育旅行の受入等を円滑に実施する体制を整備する。	8月には韓国からの教育関係者13名を城北高等学校で、11月にはドイツニーダーザクセン州からの高校生訪問団14名を徳島商業高校で受け入れて学校交流を実現した。 ICTを活用して、県立川島中学校がオーストラリアの学校とTV会議による授業や生徒間交流を実施した。	当初	3,639	学校政策課

本四高速全国共通料金対応戦略(第1弾)の進捗状況

3)観光交流戦略

観光客の受入態勢整備や制度導入後のさらなる観光交流促進を図る。

H26.1末現在

番号	事業名等	事業内容等	進捗状況	予算区分	予算額 (千円)	担当課名
53	本四高速全国共通料金対応戦略 スタートダッシュ事業 (観光・交流促進に向けた地域の魅力発信事業) (緊急雇用)	県外からの移住・交流や二地域居住を促進し、過疎集落の再生や活性化に繋げるため、本四高速全国共通料金制導入のメリットを最大限に活かし、関西圏に在住の方をターゲットとした「いなか暮らし体験ツアー」を実施し、本県でのいなか暮らしの魅力を発信する。	9月以降3地域において、関西在住で移住に関心のある人を対象とした「いなか暮らし体験ツアー」を実施。 12月・・・上勝町(予定) H26年2月・・・美波町 H26年3月・・・三好市	6月補正	3,500	地域創造課 集落再生室
54	本四高速全国共通料金対応戦略 スタートダッシュ事業 (観光交流促進に向けた地域の魅力発信事業) (緊急雇用)	徳島県の知名度をアップさせるため、本県のイメージアップにつながるPR動画、特設WEBサイトの制作、県外メディアへの営業活動を行う。	今年度10月から開始した「おどる宝島！パスポート」の情報のほか、本県の魅力を情報発信するべく、WEBサイトを制作し、観光プロモーションを展開。またPR動画を制作中。	6月補正	33,500	観光政策課
55	本四高速全国共通料金対応戦略 スタートダッシュ事業 (とくしま産直市発信事業) (緊急雇用)	県外客に対する県内産直市の情報発信力を高めるため、ナビアプリや情報誌の作成・配布等を行う。	8月下旬から県内産直市の取扱品目・特徴を取材し、産直市情報誌を作成。11月に完成し、3万部を観光案内所、道の駅、産直市等で配布中。ナビアプリは、2月からホームページで開設。	6月補正	10,000	もうかるブランド推進課

本四高速全国共通料金対応戦略(第1弾)の進捗状況

3)観光交流戦略

観光客の受入態勢整備や制度導入後のさらなる観光交流促進を図る。

H26.1末現在

番号	事業名等	事業内容等	進捗状況	予算区分	予算額 (千円)	担当課名
56	徳島！いなか暮らし魅力発信事業 (徳島に住もう！推進事業) 【ゼロ予算事業】	徳島への移住や二地域居住を推進するため、「とくしま移住支援物件検索サイト」による移住物件等の情報発信を行う。	物件検索サイトにより移住支援の登録物件情報を継続的に発信。 (海暮らし・山暮らし・まち暮らし・菜園(田畑)つきの売一戸建・売土地の登録件数 1月末 85件)	6月補正	0	地域創造課 集落再生室 住宅課
57	本四高速全国共通料金対応戦略 スタートダッシュ事業 (「にし阿波 行っとなっとく！」誘客社会実験事業)	四国外からの観光客に「本四高速への全国共通料金制度の導入」のメリットを先取りして実感してもらうため、社会実験として「にし阿波」をフィールドに「高速料金値下げ相当額」の地域商品券をプレゼントするアンケート調査キャンペーンを実施する。	にし阿波の観光地、宿泊施設で30か所でアンケート調査実施。(10月中旬～12月10日) アンケート回答者の中から抽選で200名に地域商品券(差額4,500円分)をプレゼント(12月24日) 地域商品券の利用期間(1月6日～3月9日)	6月補正	1,260	西部総合県民局 企画振興部 (三好)
58	本四高速全国共通料金対応戦略 スタートダッシュ事業 (うち観光交流促進に向けた地域の魅力発信事業) (緊急雇用)	淡路島を含む関西圏、岡山、広島等本四高速道路3ルートに関連した地域で観光キャンペーンを実施することにより、魅力あふれる「にし阿波」の観光情報を発信し、「本四高速への全国共通料金制度の導入」に伴う観光誘客の増加に結びつける。	淡路サービスエリアキャンペーン(10月5日)、大阪モーターショー(12月20～23日)で観光PR実施。 3月京都ゼスト御池キャンペーンほかで観光PRを実施予定。	6月補正	3,500	西部総合県民局 企画振興部 (三好)
3)観光交流戦略		58事業			339,925	

本 四 高 速 全 国 共 通 料 金 対 応 戦 略 (第 1 弾) の 進 捗 状 況

4) 農林水産戦略

関西はもとより「日本の台所」として、全国に向けた「とくしまブランド」農林水産物の販路拡大を図る。

H26.1末現在

番号	事業名等	事業内容等	進捗状況	予算区分	予算額 (千円)	担当課名
1	農産物販売あつ旋費	京浜及び京阪神地域において、農畜水産物及び加工品等の円滑な流通を促進するため、生産者出荷団体と青果卸売機関及び関係団体との連携を図るとともに、各県事務所や関係団体等から情報を収集する。	関係団体等との連携及び情報収集を図るため、京浜地区では、主要青果卸会社販売担当者とブランド品目振興について意見交換や流通行政連絡会による講演会を開催、中京・京阪神地域では、野菜情報交換会、京阪神市場駐在協議会(加盟団体:46団体)、関西市場駐在協議会及び講演会・研修会、中京市場駐在員協議会(加盟団体:22団体)を開催した。	当初	859	もうかるブランド推進課
2	「GOチャレンジ」販売力強化対策事業	首都圏及び関西圏でのブランド野菜等の販売を拡大するため、優先的に販売する量販店等を確保し、販売強化プロジェクトチームの活動を強化する。	首都圏・関西圏にそれぞれ設置する「販売強化PT」の検討内容等を踏まえ、県産冬野菜最盛期となる2月上旬から、首都圏6店舗、関西圏1店舗の計7店舗の量販店、百貨店で「徳島コーナー」の設置予定。	当初	4,200	もうかるブランド推進課
3	「6次化産品開発支援」モデル事業	6次産業化の取組みを加速化するため、消費者の嗜好や時代のニーズを捉えた商品づくりの取組みや商品のブラッシュアップ、プロモーションなどの取組みを支援する。	6次産業化の取組みを進める農林漁業者等から多くの応募があり、計画性・実現性等の観点から審査を実施、「イチゴジャム」「なると金時チップス」「梅酒共通銘柄」の新商品開発の取組み、「すだちぶり」の大都市圏での新販路開拓や「半田あたご柿」を活用した商品のブラッシュアップ等の取組みを採択、新たな商品化が図られるとともに、商談会や展示会への出展を支援し販路拡大を図った。	当初	2,500	もうかるブランド推進課

本四高速全国共通料金対応戦略(第1弾)の進捗状況

4) 農林水産戦略

関西はもとより「日本の台所」として、全国に向けた「とくしまブランド」農林水産物の販路拡大を図る。

H26.1末現在

番号	事業名等	事業内容等	進捗状況	予算区分	予算額 (千円)	担当課名
4	徳島発新農業ビジネスモデル創出事業	農林水産業における新たなビジネスを創出するため、6次産業化に取り組む農林漁業者等に対し、新商品開発やマーケティングの支援を行うとともに、販路開拓を促進するマッチング商談会等を開催する。	6次産業化の実践者や百貨店の販売担当者等から組織する「農林水産業ビジネス促進協議会」を設置し、6次産業化に取り組む農林漁業者等にアドバイスを実施するとともに、日本政策金融公庫・徳島県商工会連合会等関係機関とも連携し、販路拡大を図るための農林漁業者と異業種との交流会、県外の百貨店やホテルのバイヤーを招聘した商談会を開催した。	当初	2,100	もうかるブランド推進課
5	とくしまブランド戦略推進事業	基幹産業である本県農林水産業を大きく発展させるため、「とくしまブランド」のブランド力の強化と更なる浸透を図り、産地間競争を勝ち抜く「もうかる農林水産業の実現」を目指す「ひろがる・とくしまブランド戦略」の総合調整等を行う。	ブランド戦略会議企画委員会(8月1日)、ブランド戦略会議(8月20日)を開催し、本四高速全国共通料金化の活用等を検討し、戦略体系の見直しを行った。 また、JA営農・販売担当者、支援センター職員を対象に「ブランド産地づくり人材育成研修」を2回(7月11日及び1月21日)開催した。	当初	1,710	もうかるブランド推進課
6	「飛び出す」ブランド産地育成事業	「とくしまブランド」の特長である「高品質、安全、安心」に「ニーズに応える機動力」を加えて、消費感を向上させるため、プレミアム価値のある「とくしま特選ブランド」を創出する産地や各種団体を支援する。	「とくしま特選ブランド」の登録商品拡大(31商品→33商品)、徳島阿波おどり空港での特選商品展示PR、アスティで開催された阿波おどり(8月)での物販を実施するなどして、登録商品を消費者へPRした。 また、「消費感度の高い産地づくり」を推進するため、作型延長による増産や新品種の導入、市場ニーズに対応した増産対策などに取り組む県内13団体に支援を行っている。	当初	14,900	もうかるブランド推進課

本 四 高 速 全 国 共 通 料 金 対 応 戦 略 (第 1 弾) の 進 捗 状 況

4) 農林水産戦略

関西はもとより「日本の台所」として、全国に向けた「とくしまブランド」農林水産物の販路拡大を図る。

H26.1末現在

番号	事業名等	事業内容等	進捗状況	予算区分	予算額 (千円)	担当課名
7	走る「とくしまブランド」展開事業	県産農林水産物の消費拡大を図るため、「新鮮なっ！とくしま」号の展開や「とくしまブランド協力店」の情報発信力の強化とともに、「美味しいよ！とくしまブランド店」の登録拡大などにより、消費者に積極的にPRする。	食博覧会・大阪(4～5月)、神戸まつり(5月)、京都中央卸売市場夏まつり(8月)、目黒のさんま祭り(9月)、名古屋市場まつり(11月)等県外での「新鮮なっ！とくしま」号の展開(運行回数403→446回(1月末現在)・走行距離137,559→149,568km(1月末現在))、「とくしまブランド協力店」の登録拡大(34店→36店)、「美味しいよ！とくしまブランド店」の登録拡大(23店→25店)を行い、県産農林水産物の情報発信によるPRを行った。	当初	25,760	もうかるブランド推進課
8	「ブランド応援隊」活用事業	県産農林水産物の認知度の向上、消費拡大を図るため、とくしまブランドサポーターの活用等により、「とくしまブランド」の魅力を全国の消費者に伝え、県産農林水産物の購入を促進する。	ブランドサポーター育成のため、「新鮮なっ！とくしま大使」研修プログラム(候補者18名)として、すだち収穫体験などの農林水産業体験6回を実施した。2月に、「大使委嘱状交付式」及び「県産食材料理学習会」を同時開催する予定。大学生向けには、徳島大学及び四国大学の各学部の学生167名を対象に「とくしまブランドセミナー」を開催。また、シルバー大学校で生徒384名を対象に「とくしまブランドセミナー」を開催。	当初	3,874	もうかるブランド推進課

本 四 高 速 全 国 共 通 料 金 対 応 戦 略 (第 1 弾) の 進 捗 状 況

4) 農林水産戦略

関西はもとより「日本の台所」として、全国に向けた「とくしまブランド」農林水産物の販路拡大を図る。

H26.1末現在

番号	事業名等	事業内容等	進捗状況	予算区分	予算額 (千円)	担当課名
9	農林水産物プロモーション展開事業	首都圏における県産農林水産物の販路拡大を図るため、生産者団体等と連携し、パブリシティをはじめ、効果の高い手法を検討し、認知度の飛躍的な向上に取り組む。	首都圏等における県産農林水産物の認知度の向上を図るため、生産者等によるラジオ番組でのブランド製品のPRを行った。 さらに、大手食品企業とのコラボレーションを促進するため、商品開発担当者に対する県産食材の企画提案(情報提供)を実施予定。 【テレビ】 人生の楽園(梅酒づくりで故郷を元気に他、テレビ朝日)、食彩の王国(鳴門の砂のマジック他、テレビ朝日) 【ラジオ】 ヒラタや本舗(ラジオ関西)など 【商品】 イオン 木頭ゆず酎ハイ、サントリー トリスハイボール瀬戸内すだちレモン、阿波おどりのうまいんじょ弁当など	当初	5,000	もうかるブランド推進課
10	とくしま食育推進事業	県産農林水産物ファンの拡大を図るため、食料生産県である徳島県の特徴を活かし、県産品を積極的に販売・活用する「地産地消協力店等」の登録を進め、HP等で広く紹介する。	県産食材が豊富に出荷される11月の「地産地消月間」を中心に野菜摂取量アップと地産地消の活動である「サラダ元気日曜日イベント」(四国の右下食博覧会)や「食育フェア」(市町村イベント 大学祭 量販店)などのイベントを関係機関と連携して実施し、併せて県産野菜の消費拡大・PRを図った。 専用ホームページを立ち上げ、料理研究家浜内千波氏から毎月県産野菜を材料にしたレシピの提供を受け、県産野菜の活用推進を図っている。	当初	398	もうかるブランド推進課

本四高速全国共通料金対応戦略(第1弾)の進捗状況

4) 農林水産戦略

関西はもとより「日本の台所」として、全国に向けた「とくしまブランド」農林水産物の販路拡大を図る。

H26.1末現在

番号	事業名等	事業内容等	進捗状況	予算区分	予算額 (千円)	担当課名
11	はもがひろげるとくしま海の幸事業	「徳島の活鱧」の首都圏における需要の新規開拓や本四高速の全国共通料金化を見据えた「日本三大はも祭り」でのPR強化を行うとともに、観光関係団体と連携し、「はも」をはじめとした徳島の美味しい魚と店舗情報を発信する。	<p>7月に築地市場「徳島の活鱧見本市」を開催し、はもをはじめ鳴門鯛、わかめ、あわび類のPRを実施。</p> <p>「日本三大はも祭り」にあわせて、JR京都駅伊勢丹、京阪シティーモール、アスティとくしま等で「徳島の活鱧」のPR、試食配布を実施。</p> <p>「はもの日(8/3)」に合わせて徳島自動車道の上板SAのレストラン等でメニュー提供を実施。</p> <p>東京ミッドマーケット(10/11~14)で「徳島の活鱧」と観光を合わせたPRを実施。</p> <p>大阪府市場35周年記念市場祭り(11/10)で「徳島の活鱧」のPR、試食配布を実施。</p>	当初	4,700	水産課
12	水産物流通情報調査・PR事業	本四高速の全国共通料金化を見据えた、大都市消費地市場の情報収集調査及び県産ブランド水産物の県外での認知度向上、消費拡大に向けたPRを実施する。	<p>○料理教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月に3日間、鳴門わかめ、ちりめんなどを使用して、大阪市内で管理栄養士等約120名を対象に実施。 ・7月17日に、はもなどを使用して、武庫川女子大学で学生30名を対象に実施。 <p>○県産はものPR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月29日~8月2日に、京都すし市場で一般消費者を対象に実施。 <p>○県産ブランド水産物のPR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月8~9日に、農林水産祭(首都圏)で一般消費者を対象にわかめ、ちりめん等のPR、販売を実施。 	当初	846	水産課

本四高速全国共通料金対応戦略(第1弾)の進捗状況

4) 農林水産戦略

関西はもとより「日本の台所」として、全国に向けた「とくしまブランド」農林水産物の販路拡大を図る。

H26.1末現在

番号	事業名等	事業内容等	進捗状況	予算区分	予算額 (千円)	担当課名
13	旬の味・ほんもの体験ツアー事業 (緊急雇用)	本四高速の全国共通料金化による交流人口の増加を見据え、はも・すだち・なると金時などのブランド製品の認知度向上、消費拡大を図るため、「四季折々の料理」と「農畜水産物の体験観光」を組み合わせたツアーを企画・実施する。	旬のはも料理と、漁協セリ、すだち収穫、なると金時掘りなどの体験観光を組み合わせた「旬の味・ほんもの体験ツアー(1泊2日バスツアー)」を、8/6~7、8/27~28、10/28~29、10/30~11/1、11/5~6に実施。京都市在住の一般消費者が参加し、食事、体験プログラムともに好評を得たところ(3月を目処に、更に1回の開催を予定)。	当初	3,640	水産課
14	住みたい「徳島すぎの家」づくり支援事業 (一部)	本四高速全国共通料金化による県産材利用の拡大につなげるため、県外で活動する「徳島すぎの家づくり協力店」等に対して、県産材を使用した家具や内装材等の提供を行い、完成見学会の開催等で県産材のPRを実施する。	「徳島すぎの家づくり協力店」数が今年度(1月末現在)、3事業所増加(県内:140→141、県外28→30)。県外の「徳島すぎの家づくり協力店」による、住みたい「徳島すぎの家」を募集中。	当初	8,800	林業戦略課
15	県産材ブランドアップ事業 (一部)	本四高速全国共通料金化を見据えた県産材の販路拡大のため、大消費地における展示商談会へ参加するとともに、住宅メーカー等を対象にしたマッチングフェアやPRイベント等を開催し、県産材のPRを実施する。	大消費地市場開拓推進事業として、6/22~23に「住まいの耐震博覧会(名古屋市)」、9/7~8に「住まいの耐震博覧会(大阪市)」、10/23~25に「ジャパンホームショー(東京都)」に出展。	当初	5,250	林業戦略課
16	かいふ戦略「耕畜連携」モデル支援事業	新規就農者の確保・定着を図るため、生産拡大や農業収入と畜産企業での雇用収入を組み合わせ合わせた人材面での耕畜連携を推進し、新たな安全・安心の地域ブランドの育成や「共通料金制度」を見据えた6次産業化への取組みを支援する。	7月に畜産農家と野菜農家が組合員となった農事組合法人が設立され、かいふエコ農産物の生産拡大が期待される。9月8日にかいふエコ農産物をPRする「かいふecoフェスタ」を開催し、かいふエコ農産物による新メニューの提案と試食提供を行った。	当初	2,400	南部総合県民局 産業交流部 (美波)

本 四 高 速 全 国 共 通 料 金 対 応 戦 略 (第 1 弾) の 進 捗 状 況

4) 農林水産戦略

関西はもとより「日本の台所」として、全国に向けた「とくしまブランド」農林水産物の販路拡大を図る。

H26.1末現在

番号	事業名等	事業内容等	進捗状況	予算区分	予算額 (千円)	担当課名
17	守れ集落・取り組み6次産業化推進事業	担い手の高齢化・減少など深刻化する集落の課題解決のため、「共通料金制度」を活かした特産品の全国展開や女性起業家等による新たな事業展開を支援することで、6次産業化を加速し集落の再生・活性化を図る。	イオンとの連携により、「木頭ゆず」の全国展開に向け、9月にイオン見本市(岡山)へ出展、11月にゆずフェア(大阪)を開催し、県外でのPRを図った。木頭ゆず産地見学ツアー(80名参加)の実施。 女性起業家による農業体験等の受け入れを行う交流拠点「ゆずカフェ」が10月にオープンし、観光客等の受け入れを開始。	当初	1,500	南部総合県民局 産業交流部 (阿南)
18	県南の漁村を元気にするブランド支援モデル事業	県のブランド水産物であるアワビ等の新たな需要の創出を図るため、「全国共通料金制度の導入」を最大限活用し、新たな冷凍・加工品の開発や効率的な販売流通システムの構築を支援する。	8月下旬に海部郡内漁協・町・南部総合県民局による「とくしま海部水産物品質確立協議会」を設立。モデルケースとしてアオリイカを対象とした統一規格を導入し、県内外への販路拡大に取り組んでいる。	当初	700	南部総合県民局 産業交流部 (美波)
19	SGEC認証森林の付加価値向上・「カーボン・オフセット」推進事業 (緊急雇用)	SGEC認証森林の拡大、認証木材の販売促進、地域経済の活性化を図るためのオフセット・クレジット(J-VER)制度啓発やクレジット購入に向けたマッチング、認証森林及び認証木材のPR等を行う。	委託先のホームページ及びFacebookにより、SGEC認証制度等のPRを実施した。 「森のショーウィンドー」を体験する「きころんに会いにin木屋平」を開催し、SGEC認証森林及び認証木材の啓発を行った。	当初	3,465	西部総合県民局 農林水産部 (美馬)
20	地産地消・6次産業化推進補助業務 (緊急雇用)	地域の農産物を活用した地産地消、6次産業化を推進するための情報発信を行い、地域食材の新たな活用法や活用事例等を取りまとめるとともに、啓発グッズの作成等を行う。	地域食材の新しい調理方法や活用事例等ととりまとめ、情報発信を行った。 地域特産品である「キクイモ」のPRのため、地元協議会によるキャラクターの作成・愛称決定を支援した。	当初	2,090	西部総合県民局 農林水産部 (美馬)

本 四 高 速 全 国 共 通 料 金 対 応 戦 略 (第 1 弾) の 進 捗 状 況

4) 農林水産戦略

関西はもとより「日本の台所」として、全国に向けた「とくしまブランド」農林水産物の販路拡大を図る。

H26.1末現在

番号	事業名等	事業内容等	進捗状況	予算区分	予算額 (千円)	担当課名
21	にし阿波・賑わう産直市育成事業 【ゼロ予算事業】	産直市の活性化を図るため、商品づくりの研究や食品表示の徹底等を推進するとともに、消費者に対する食の提案や交流活動の推進により、消費者が訪れて、癒され、豊かな暮らしに繋がる産直市になるよう支援を行う。	産直市出荷者に対して、専門家による魅力的な商品展示方法等の指導により、販売を支援した。 「にし阿波産直市まつり」を開催した。	当初	0	西部総合県民局 農林水産部 (美馬)
22	「そらのそばづくり」ステップアップ事業	農家所得の向上及び地域経済の活性化、さらには限界集落の機能維持等に繋げるため、「そばづくり協議会」を中心に、在来そば品種の確保、生産拡大、販売体制の確立及び強力なPRを推進し、地域ブランド「そらのそば」の育成を図り、誘客を促進する。	集落のそば生産活動をサポートするため、企業等の応援を募り行う「応援し隊」等の活動を推進した。 地域ブランド育成のため、「そらのそば」協力店を登録した(6店舗)。 各種イベントにより「そらのそば」PRを推進した。 「ツール・ド・にし阿波(5/12)」、「四国大学との交流会(8/2)」	当初	2,185	西部総合県民局 農林水産部 (三好)
23	県産材倍増10UP運動推進業務 (緊急雇用)	地元産木材を使った住宅の建設促進や地域外への建築用内装材普及PR・販売促進活動を行い、「県産材倍増10UP運動」を推進する。	地元産木材を使った住宅の建設促進、建築用内装材普及等のPRのため、次のイベントに製材及び内装材を出展した。 ナイス耐震博覧会(6/22~23、9/7~8) 越井木材内覧会(6/23) また、地元産木材に親しんでもらうため、次のイベントに地元産木材を使った木工製品を出展した。 玩具&インテリア雑貨展(4/23~5/12) 伝統工芸士と三好ゆかりの木製品(6/12~6/30) わくわく夏の木工まつり(6/20~23) 香川ウッディフェスティバル(10/12~13)	当初	1,929	西部総合県民局 農林水産部 (三好)

本四高速全国共通料金対応戦略(第1弾)の進捗状況

4) 農林水産戦略		関西はもとより「日本の台所」として、全国に向けた「とくしまブランド」農林水産物の販路拡大を図る。				H26.1末現在
番号	事業名等	事業内容等	進捗状況	予算区分	予算額 (千円)	担当課名
24	本四高速全国共通料金対応戦略スタートダッシュ事業(とくしまブランド食材お試し事業)(緊急雇用)	大消費地における県産農林水産物など優れたブランド食材の新たな需要の創出、販路の開拓を促進させるため、京阪神地域の飲食店や企業の社員食堂等の実需者に向けて戦略的な売り込みを行うモデル事業を実施する。	大消費地の飲食店等実需者に向けた需要創出、販路開拓に取り組んでいる。夏期では、大手うどんチェーン店とのタイアップにより京阪神地域を中心とする350店舗以上で「すだち」を使ったメニューが展開された。 県産秋冬野菜の最盛期となる2月から中食大手とのタイアップで、全国のデパート地下食品売場で展開する総菜チェーン店において、県産野菜を活用した総菜等が販売される予定。	6月補正	15,000	もうかるブランド推進課
4) 農林水産戦略		24事業			113,806	

本四高速全国共通料金対応戦略(第1弾)の進捗状況

5)交通ネットワーク戦略		観光誘客や物流における、さらなる利便性向上のための交通ネットワーク整備を推進する。				H26.1末現在
番号	事業名等	事業内容等	進捗状況	予算区分	予算額 (千円)	担当課名
1	架橋協力事業	本四高速共通料金化に向けた出資。 (事業主体 県(その他関係団体等))	平成25事業年度第1回出資金(926,918,000円)をH25.7.22支払い済み。 平成25事業年度第2回出資金(926,918,000円)をH25.11.21支払い済み。	当初	1,853,836	道路政策課
2	「近いよ!徳島」高速道路全国共通料金PR事業 【ゼロ予算事業】	平成26年度からの全国共通料金の導入に向け、「観光振興」、「農林水産物の流通」、「企業誘致」などに繋げるため、広くアピールする。	H25.4.27に、鳴門IC・鳴門北ICから出てくる車を対象にナンバープレート調査を実施(出車確認交通量:6,202台(9:00~16:00)、岩手県以外の都道府県のナンバープレートを確認)。 今後、この調査結果を基に、戦略的にPRを行う(本四高速全国共通料金対応戦略スタートダッシュ事業にも活用)。	当初	0	道路政策課
3	松茂スマートICへのアクセス道路整備 (緊急地方道路整備事業)	本四高速共通料金化を見据え、本県の産業振興や観光交流の促進等に資する道路交通ネットワークの利便性を高めるため、四国横断自動車道松茂スマートICへのアクセスの向上を図る。	○新長岸橋(仮称)下部工事(H24.10着手) ○ " 上部工事(H25.10着手) ○一般部土工工事(H25.9着手)	当初	786,885	道路整備課
4	にし阿波~剣山・吉野川観光圏整備計画に基づく道路整備 (道路改築事業、緊急地方道路整備事業、道路局部改良事業等)	本四高速共通料金化を見据え、本県の観光交流促進のため、にし阿波~剣山・吉野川観光圏へのアクセス及び観光圏内における移動の利便性の向上を図る。	【一般国道439号 落合バイパス】 下瀬トンネル 完成・開通式 (H25.9.7) 【県道丸亀三好線 屋間~内野工区】 前山橋(仮称)上部工工事を推進。H25.12月末に桁の架設が完了。	当初	2,754,640	道路整備課

本四高速全国共通料金対応戦略(第1弾)の進捗状況

5)交通ネットワーク戦略		観光誘客や物流における、さらなる利便性向上のための交通ネットワーク整備を推進する。				H26.1末現在
番号	事業名等	事業内容等	進捗状況	予算区分	予算額 (千円)	担当課名
5	「四国の右下」等への観光支援に資する道路整備 (道路改築事業、緊急地方道路整備事業、道路局部改良事業等)	本四高速共通料金化を見据え、本県の観光交流促進のため、観光客の「四国の右下」(県南部地域)等へのアクセス及び移動の利便性の向上を図る。	【一般国道195号 出合大戸バイパス】 出合大橋(仮称)上部工工事 当初契約(H25. 12. 19)。 【県道山口鉦打線 鉦打工区】 鉦打橋下部工を推進。	当初	4,163,364	道路整備課
6	企業誘致に資する道路整備 (道路改築事業、緊急地方道路整備事業、道路局部改良事業)	本四高速共通料金化を見据え、本県の産業振興のため、県内産業団地及び、主要工場へのアクセスの向上を図る。	【県道川内大代線 加賀須野橋】 橋梁上部工事のうち一般部(可動部以外)の架設を完了。 橋梁上部工事(可動橋部)及び取り合い部土工工事を推進。 【県道富岡港南島線 辰巳～中島工区】 設計が完了し、用地測量を実施中。	当初	1,909,296	道路整備課
7	四国横断自動車道の整備促進 (高速自動車道対策事業費)	市町が担う高速道路周辺対策事業に対し、県費補助を行い、四国横断自動車道の整備促進を図る。	平成26年度の四国横断自動車道(鳴門JCT-徳島IC)の供用に向けて事業を促進。	当初	84,523	高規格道路課
8	四国横断自動車道の整備促進 (高速道路整備支援事業費)	市町が担う高速道路の側道整備に対し県費補助を行い、四国横断自動車道の整備促進を図る。	平成26年度の四国横断自動車道(鳴門JCT-徳島IC)の供用に向けて事業を促進。	当初	19,878	高規格道路課
9	道路関係団体負担金	期成同盟会等と連携し、四国8の字ネットワークの整備促進・利用促進を図る。	8月1日に、「四国8の字ネットワーク整備・利用促進を考える会」を東京で開催するとともに要望活動を実施。	当初	1,290	高規格道路課

本四高速全国共通料金対応戦略(第1弾)の進捗状況

5)交通ネットワーク戦略		観光誘客や物流における、さらなる利便性向上のための交通ネットワーク整備を推進する。				H26.1末現在
番号	事業名等	事業内容等	進捗状況	予算区分	予算額 (千円)	担当課名
10	道路関係直轄負担金	四国横断自動車道の建設に係る直轄負担金。	四国横断自動車道(阿南IC~小松島IC間)の用地取得及び工事の進捗が図られた。	当初	437,833	高規格道路課
11	徳島小松島港コンテナ利用促進事業	徳島小松島港コンテナターミナルにおいて、徳島~釜山定期航路の貨物取扱量の増加や中国・東南アジア向けの新規航路の誘致を図るため、コンテナ取扱に係る荷主等を支援する。	日本電工株式会社は、大阪港を利用して輸入していたコンテナ貨物(金属珪素)について、本県の助成制度をきっかけに「物流の合理化」を進めた結果、6月から徳島小松島港を利用する輸入形態に変更した(年間取扱量約800TEU)。	当初	40,000	運輸政策課
12	徳島小松島港沖洲ふ頭整備事業	徳島小松島港沖洲(外)地区において、耐震強化岸壁による複合一貫輸送ターミナルの整備により、陸・海の結節点として物流・防災機能の強化を図り、地域経済の発展を推進する。	○ふ頭用地外郭部のケーソン据付工事が完了。 ○平成26年度岸壁完成に向け、順次、浚渫工事(航路・泊地)、埋立工事、舗装工事等を推進。	当初	532,021	運輸政策課
13	徳島小松島港津田地区整備事業	徳島小松島港津田地区において、広域交通ネットワークの形成に資する四国横断自動車道用地等の整備を推進する。	平成26年度の埋立完了に向け、用地造成工事を推進。	当初	171,975	運輸政策課
14	マリニピア沖洲第2期事業(徳島小松島港沖洲地区(二期)整備事業)	徳島小松島港沖洲地区において、広域交通ネットワークの形成に資する四国横断自動車道用地等の整備を推進する。	埋立計画面積約18.0haのうち、約10.2haの埋立が完了。残る埋立工事等を推進。 平成25年度内に四国横断自動車道用地約6.8haのうち、約2.5haを国に売却予定。	当初	541,784	運輸政策課

本 四 高 速 全 国 共 通 料 金 対 応 戦 略 (第 1 弾) の 進 捗 状 況

5)交通ネットワーク戦略		観光誘客や物流における、さらなる利便性向上のための交通ネットワーク整備を推進する。				H26.1末現在
番号	事業名等	事業内容等	進捗状況	予算区分	予算額 (千円)	担当課名
15	臨空用地の売却(空港周辺臨海土地造成事業)	空港の持つ機能を最大限に活用し、本県の振興、発展につなげていくため、空港支援等施設用地、流通施設用地等の整備を図る。	空港支援等施設用地については、インフラ整備を完了し、約2.8haの売却又は貸付を完了。 流通施設用地等については、約7.5haの売却又は貸付を完了。売却等の状況に併せ、順次、インフラ整備を推進。	当初	42,250	運輸政策課
16	駐車場利用活性化事業	県外客等へのアンケート調査を実施し、県営駐車場の利用拡大に向けた促進策を策定する。	藍場町地下駐車場、松茂駐車場において、県外客の利用促進に向けたアンケート調査を実施。調査結果を基に、利用拡大に向けた促進策を策定する。	当初	1,000	企業局 経営企画戦略課
5)交通ネットワーク戦略		16事業			13,340,575	

本 四 高 速 全 国 共 通 料 金 対 応 戦 略 (第 1 弾) の 進 捗 状 況

6)文化・スポーツ・にぎわい戦略

徳島ならではの文化情報の発信や、スポーツイベント等の展開を図る。

H26.1末現在

番号	事業名等	事業内容等	進捗状況	予算区分	予算額 (千円)	担当課名
1	世界に誇る四国遍路モデル事業	「四国八十八カ所霊場と遍路道」の世界遺産登録を推進するため、県内におけるモデル地域を設定するとともに、四国4県・関係市町村等と連携しながら、世界遺産暫定一覧表に記載されるのに必要な調査のあり方や手法について調査研究を行う。	9月～、4番札所大日寺において総合調査(古文書、仏像・仏画、石造物、建造物)を実施中。	当初	5,800	広域行政課
2	文化立県とくしま推進基金造成費補助金(とくしまきり芸術文化事業)	「あわ文化の創造・発信・活用」をさらに支援するため、「文化立県とくしま推進基金」を拡大・強化するための造成費を補助する。	「文化立県とくしま推進基金」を通じて「文化立県とくしま推進会議」が行っている各種文化振興活動を支援しており、さらに「あわ文化の創造・発信・活用」を進めるため、造成費補助を実施。	当初	230,000	とくしま文化振興課
3	阿波スタイルの豊かなくらし実現事業【文化立県とくしま推進基金事業】	国内外との交流を促進するため、農村舞台をはじめとする文化資源を活用したまちづくりモデルの構築や文化情報の集積・魅力発信を行う。(事業主体 文化立県とくしま推進会議)	○アート展「杜舞台 拝宮」(5月18～19日 那賀町)来場者480名 ○アート展「杜舞台 東京展」(7月6日～21日 東京都)来場者7,023名 ○「阿波藍×未来形プロジェクト」(8月2日～12日 徳島市)入場者934名 ○あわ文化情報誌「あおあお」3万部発行予定。	当初	16,000	とくしま文化振興課
4	音楽文化が息づくまちづくり事業【文化立県とくしま推進基金事業】	国内外との交流を促進するため、クラシック、ジャズ、邦楽などによる「徳島ならではの」音楽文化が息づくまちづくりを進める。(事業主体 文化立県とくしま推進会議)	○親子のためのコンサート(5月5日)来場者数200名 ○弦楽アンサンブル(7月14日)来場者数1,200名 ○とくしま記念オーケストラ定期公演(10月27日)来場者数750名	当初	15,000	とくしま文化振興課

本 四 高 速 全 国 共 通 料 金 対 応 戦 略 (第 1 弾) の 進 捗 状 況

6)文化・スポーツ・にぎわい戦略

徳島ならではの文化情報の発信や、スポーツイベント等の展開を図る。

H26.1末現在

番号	事業名等	事業内容等	進捗状況	予算区分	予算額 (千円)	担当課名
5	徳島県民文化祭	地域の文化振興及び県民の誇りや心豊かな暮らしの創出を図るため、質の高い芸術に触れる機会を創出するなど、県民一人ひとりの幅広い文化活動への参画の場となる徳島県民文化祭を開催する。 (事業主体 徳島県民文化祭開催委員会)	○和太鼓ワークショップ(8月10日～11日 美波町、徳島市) 参加者51名 ○和太鼓ワークショップ(9月1日 徳島市) 参加者51名 ○わわわフェスティバル(9月15日 徳島市) 来場者1,500名	当初	20,000	とくしま文化振興課
6	地域文化コーディネート事業 【ゼロ予算事業】	文化の力を活用したまちづくりを推進するため、市町村や文化団体等が取り組む文化事業について、アイデアの提供や、人材、財源の調達支援などのコーディネートを行う。	○那賀町へ農村舞台のまちづくりへの活用についてアドバイスを実施。 ○牟岐町へ手羽島アート展のまちづくりへの活用についてアドバイスを実施。 ○NPO法人全国邦楽合奏協会が「徳島県県民との協働による課題解決事業」として実施する「第2回全国邦楽合奏フェスティバル」の来年2月の開催に向けてアドバイスを実施。	当初	0	とくしま文化振興課
7	自転車王国とくしまブランド発信事業	サイクルスポーツ先進県を目指すため、公式サイクリングコース(25コース)の充実を図るとともに、サイクルイベントの魅力アップを支援するなど、「自転車王国とくしま」のブランドを強化し、県内外に発信する。 ・ツール・ド・にし阿波2013 ・那賀川流域センチュリーラン羽ノ浦大会 ・四国の右下ロードライド ・徳島吉野川センチュリーラン大会	○ツール・ド・にし阿波2013【5/12開催 申込836名(うち県外590名)】 ○那賀川流域センチュリーラン【5/19開催 申込544名(うち県外166名)】 ○四国の右下ロードライド2013【9/8開催 申込482名(うち県外152名)】 ○徳島吉野川センチュリーラン大会【10/13開催 申込309名(うち県外133名)】	当初	1,425	県民スポーツ課

本 四 高 速 全 国 共 通 料 金 対 応 戦 略 (第 1 弾) の 進 捗 状 況

6)文化・スポーツ・にぎわい戦略

徳島ならではの文化情報の発信や、スポーツイベント等の展開を図る。

H26.1末現在

番号	事業名等	事業内容等	進捗状況	予算区分	予算額 (千円)	担当課名
8	ファミスポSHOWカーニバル	スポーツの魅力を発信し、生涯にわたってスポーツに親しむ気運を醸成するため、企業協賛金を活用し、毎年3月、家族で参加できるスポーツイベントを開催する。 (事業主体 スポーツ王国とくしま推進会議・(一財)徳島県スポーツ振興財団)	平成26年3月1日(土) 鳴門・大塚スポーツパークで開催予定。	当初	—	県民スポーツ課
9	全国規模スポーツ大会等開催支援事業	県民のスポーツ活動を推進するとともに、スポーツを通じた地域の活性化を図るため、県内で新たにアマチュアスポーツの全国大会を誘致する競技団体等に対し、大会規模に応じた助成金を交付する。 (事業主体 スポーツ王国とくしま推進会議)	○「全日本レディースソフトテニス個人戦大会」平成25年8月2日から3日間開催。 全国から20歳代から80歳代の約1,600名の大会参加者があった。	当初	2,000	県民スポーツ課
10	スポーツ合宿ブランド化推進事業	本県独自の合宿スタイルを確立し、本県のスポーツ合宿のブランド化を推進するため、強豪校を対象にスポーツ合宿誘致を行う。	去る7月5日～7日にポカリスエットスタジアムで開催された西日本学生インカレ(西日本学生大学陸上競技対校選手権)において、本県への合宿PRを実施するとともに、本県と就職支援協定を締結している、龍谷大学、関西学院大学陸上競技部の責任者を招き、鳴門渦潮高校等現地視察を行った。 今後、これらの大学を中心に合宿誘致を行う。	当初	1,500	にぎわいづくり課
11	「スポーツ王国」立国事業	スポーツ施設及び宿泊施設の有効利用や交流人口の増加を図るため、各施設と連携した受入促進を図る。	京阪神の旅行エージェント、大学等を訪問し、スポーツ合宿の誘致PRを実施した。また、合宿に来県した大学に対し、本県へのリピーター化を推進するため、特産品の差し入れを行うとともに、アンケートを実施する。(実績1校、2～3月に3校程度を予定)	当初	7,292	にぎわいづくり課

本四高速全国共通料金対応戦略(第1弾)の進捗状況

6)文化・スポーツ・にぎわい戦略

徳島ならではの文化情報の発信や、スポーツイベント等の展開を図る。

H26.1末現在

番号	事業名等	事業内容等	進捗状況	予算区分	予算額 (千円)	担当課名
12	エンジョイ☆プロスポーツ事業	プロスポーツチームの楽しさ、素晴らしさを多くの県民に知ってもらおうとともに、プロスポーツチームの集客力や情報発信力を活用し、一層のにぎわい創出を図る。	○ヴォルティスホームタウン協議会において各種イベントを実施した。 ○ヴォルティス、インディゴソックスのホームゲームへ小中学生をグループ招待した。 ○ヴォルティス、インディゴソックスから最優秀選手をそれぞれ選出した。	当初	1,120	にぎわいづくり課
13	とくしまマラソン2014推進事業(緊急雇用)	「とくしまマラソン2014」を開催するにあたり、マラソン関連イベントの企画・運営、沿道警備・救護体制の計画及び総務事務・データ管理・図面作成等を実施する。	去る12月3日から10日まで、参加者の申込みを受け付けた。現在、開催に向け、イベント企画、沿道警備・救護体制などの準備に取り組んでいる。	当初	5,240	にぎわいづくり課
14	プロスポーツ地域活性化事業(緊急雇用)	プロスポーツを活用し地域活性化を図るため、県内市町村やメディア、企業等と連携して、徳島インディゴソックス球団を活用した地域交流・活性化・PR事業に取り組む。	徳島インディゴソックス球団において、7月3日から1名を雇用し、ホームゲーム開催時ににぎわい創出に資するスタジアムイベント、また野球教室をはじめとする地域活性化イベントや地域貢献活動を実施した。	当初	2,888	にぎわいづくり課
15	鳴門総合運動公園整備事業(ポカリスエットスタジアムバックスタンド耐震改修工事)	本四高速全国共通料金化を見据え、スポーツ振興、にぎわい創出に資するポカリスエットスタジアムの整備を推進する。	平成24年度に引き続きバックスタンド改修工事を進め、平成26年6月のバックスタンド工事(屋根除く)完成を目指して整備を推進。	当初	420,000	都市計画課
16	南部健康運動公園整備事業(クロスカントリーにも利用できる園路の整備)	本四高速全国共通料金化を見据え、スポーツ・レクリエーション振興等に資する公園整備を推進する。	クロスカントリーにも利用できる園路について、平成25年6月に詳細設計に着手。工事は平成25年12月に着手。	当初	60,000	都市計画課

本四高速全国共通料金対応戦略(第1弾)の進捗状況

6)文化・スポーツ・にぎわい戦略

徳島ならではの文化情報の発信や、スポーツイベント等の展開を図る。

H26.1末現在

番号	事業名等	事業内容等	進捗状況	予算区分	予算額 (千円)	担当課名
17	拡げよう!緑・花推進活動事業(全国「みどりの愛護」のつどい)	緑を守り育てる意識の高揚等を目的とした、『第25回全国「みどりの愛護」のつどい』を本県で開催(平成26年4月から5月の間で1日)し、全国の公園緑地の愛護団体等が一堂に集う当イベントを通じて、本県ならではの物産等のPRも行う。	平成25年7月19日に設立した第25回全国「みどりの愛護」のつどい実行委員会により各種開催準備を実施中。開催日については、平成26年5月24日に決定。	当初	5,000	都市計画課
18	橘港小勝後戸地区橘港公共用地整備事業	本四高速全国共通料金化を見据え、スポーツ・レクリエーション振興等に資する公園整備を推進する。	○埋立造成完了後、盛土による沈下促進を継続実施。 ○残留沈下の状況を見極めながら、順次、スポーツ・レクリエーション施設等の整備を推進。	当初	31,500	運輸政策課
19	万代中央ふ頭にぎわいづくりモデル事業	徳島小松島港万代中央地区において、物流機能からにぎわい空間への転換を図るため、倉庫以外の利活用への支援や水上ネットワークの構築等を実施する。	○倉庫以外の利活用 ・倉庫 I の実証実験開始(12月) ・その他倉庫において新たな利活用を開始(3棟) ○水上ネットワークの構築 ・水上バス及び観光クルーズの運航 ・徳島市が策定する「川の駅構想」の候補地案として選定	当初	9,870	運輸政策課 港湾空港経営室
20	音楽を活用した賑わい列車事業(てつどう“新チャレンジ”プロジェクト)	新たな取組みとして、地域コンサートなどの開催にあわせ「音楽列車」を運行した賑わいの創出を図る。	○7月28日に「阿南夏まつり・花火大会」の開催にあわせて、車内でのジャズライブを楽しむ「ジャストレイン」の運行を実施。 徳島駅～阿南駅間(1往復) ○10月18日に穴喰町で開催された「とくしま記念オーケストラ～ピアノ五重奏&合唱～」の演奏会にあわせ、演奏会へ参加する合唱団が車内でのレッスンを行う特別列車の運行を実施。	当初	900	交通戦略課

本四高速全国共通料金対応戦略(第1弾)の進捗状況

6)文化・スポーツ・にぎわい戦略

徳島ならではの文化情報の発信や、スポーツイベント等の展開を図る。

H26.1末現在

番号	事業名等	事業内容等	進捗状況	予算区分	予算額 (千円)	担当課名
21	フェリー再生・活性化事業 (緊急雇用)	フェリーの活性化・利用促進を図るためのキャンペーン、ポスター・リーフレットによる広報活動など、利用者増加に向けた取組みを実施する。	<p>○マチ★アソビ会場などでの南海フェリーPR活動の実施。</p> <p>○徳島県観光協会と連携しフェリーを利用した徳島誘客ポスターを作成し、南海電鉄各駅へ掲出(4月～7月)。</p> <p>○フェリー、バスなどを利用した旅行商品「徳島・大阪回遊の旅」(5月20日発売)のPRうちわを作成し、関係自治体などと連携してイベント会場などで配布。</p> <p>○「徳島・大阪回遊の旅」購入者に対し、バスを利用した県内のおすすめ観光ルートを記載したリーフレット「徳島をバスで旅しよう!」を作成。(8月・11月)</p> <p>○徳島・和歌山県内の小学生を対象に「フェリー絵画コンクール」を実施し、入賞作品を南海フェリー船内に展示。(10月19日～11月24日)</p>	当初	6,080	交通戦略課

本四高速全国共通料金対応戦略(第1弾)の進捗状況

6)文化・スポーツ・にぎわい戦略

徳島ならではの文化情報の発信や、スポーツイベント等の展開を図る。

H26.1末現在

番号	事業名等	事業内容等	進捗状況	予算区分	予算額 (千円)	担当課名
22	「四国の右下」かさ！うまいもん体感事業	共通料金制度を絶好の機会として捉え、県南部の「食」の魅力を通じた交流人口の増加による地域活性化を図るため、「四国の右下」右上がり協議会が中心となり、「南阿波井」「南阿波鍋」に続く新たな「南阿波スイーツ」などの開発や食博覧会の開催、PR活動を実施する。	<p>○南阿波スイーツ開発に向けたワークショップ等の開催(6月28日、8月29日、9月6日) 地元産品を活用した「四国の右下」ならではの和・洋菓子や南阿波井や南阿波鍋のご当地グルメと一緒に提供するデザートを南阿波スイーツとして開発。29商品を南阿波スイーツとして認定。</p> <p>○第3回「四国の右下」食博覧会の開催(11月16日～17日) 南阿波井、南阿波鍋に新たに開発する南阿波スイーツに加え、南阿波グルメとして県内外にPRする「四国の右下」食博覧会を開催し、43,000人が来場。</p> <p>○県内外でのPR 徳島県南部「四国の右下」への誘客を進めるため、県内外においてご当地グルメ「南阿波井」をはじめとする食をPR。</p>	当初	3,000	南部総合県民局産業交流部(美波)
23	「剣山」かさ体験事業	「剣山国定公園」指定50周年や「本四高速全国共通料金制度」導入を絶好の機会として捉え、環境保全と地域振興を図るため、西部圏域と連携しながら剣山の持つ豊かな自然を紹介し、環境保護活動や南つるぎ登山ルートを紹介を兼ねたツアーを実施する。	<p>○剣山トレッキング×エコツアーの開催(8/3～4)</p> <p>○国定公園関連イベントのPRチラシの作成</p>	当初	1,500	南部総合県民局産業交流部(美波)

本 四 高 速 全 国 共 通 料 金 対 応 戦 略 (第 1 弾) の 進 捗 状 況

6)文化・スポーツ・にぎわい戦略

徳島ならではの文化情報の発信や、スポーツイベント等の展開を図る。

H26.1末現在

番号	事業名等	事業内容等	進捗状況	予算区分	予算額 (千円)	担当課名
24	「四国の右下」アウトドアフィールド楽園強化事業	徳島県南部の交流人口を増やすため、共通料金制度による関西方面等からの観光入り込み客をターゲットに、恵まれたアウトドアフィールドを活用し、「アウトドアスポーツの楽園」としてのブランド化を図るとともに、各イベントが連携した集客事業や効果的な情報発信を実施する。	○四国の右下ロードライド2013の開催(9/8) ○四国の右下アウトドアフェス2013開催(7/27~28)による情報発信 ○アウトドアイベント応援用グッズの作成 ○HPGイベントPRチラシの作成	当初	1,400	南部総合県民局産業交流部(美波)
25	剣山国定公園交流促進事業	「剣山国定公園」指定50周年を契機に、県と市町・関係団体が一体となり、「剣山」をはじめ「剣山国定公園」の有する地域資源に磨きをかけ、地域への観光誘客や来訪滞在の推進、地域活性化を図るためのイベント等の開催や情報発信を行う。	○剣山山頂でのオープニングセレモニー及びクリーンアップウオーク実施(6/2) ○ホームページ開設、PRパンフレット・ポスター等の配布による情報発信 ○地元小学校と連携し、穴吹川や貞光川などで「水辺の環境調査」を実施(6月~7月) ○小中学校生徒に対し、自然公園を普及啓発するためのポスターの募集(8月)	当初	1,000	西部総合県民局企画振興部(美馬) 保健福祉環境部(美馬)
26	ふるさととくしま体験学習推進事業【ゼロ予算事業】	県内外の親子連れに徳島の魅力を体感いただくため、牟岐少年自然の家での体験学習プログラムや、地元高校生とのサーフィン交流など、関係部局と自然体験型の交流メニューづくりを進める。	新たな指定管理者と基本協定の協議を行うとともに、事業実施協議をすすめる。	当初	0	生涯学習政策課
27	学校交流促進事業【ゼロ予算事業】	県外の学校との交流を促進し、本県の児童生徒の視野を広げるとともに、交流人口の拡大を図るため、「学校交流推進校」を認定し、情報発信を行う。	「学校交流推進校」の認定に向け、収集した情報のとりまとめを行うとともに、情報発信の手法について検討を進めている。	当初	0	学校政策課

本 四 高 速 全 国 共 通 料 金 対 応 戦 略 (第 1 弾) の 進 捗 状 況

6)文化・スポーツ・にぎわい戦略

徳島ならではの文化情報の発信や、スポーツイベント等の展開を図る。

H26.1末現在

番号	事業名等	事業内容等	進捗状況	予算区分	予算額 (千円)	担当課名
28	休廃校を活用した地域活性化推進事業【ゼロ予算事業】	県外の児童・生徒、大学生等に、自然に恵まれた中で合宿や社会学習教室を体験する機会を創出するため、休廃校施設の利用可能性を調査する。	休廃校施設を使用する際の課題を抽出中。合宿等の実施については、休廃校の活用にとられることなく、既存の宿泊施設、キャンプ場の利用を含めて早期に実現できる方策を検討する。	当初	0	学校政策課、生涯学習政策課、教育文化政策課、施設整備課
29	県立学校施設と既存のスポーツ施設を連携させたスポーツキャンプ誘致事業【ゼロ予算事業】	スポーツを通じた交流人口の拡大と、競技力向上を図るため、鳴門渦潮高校の人工芝グラウンドや阿南工業高校のホッケー場(多目的球技施設)、今後整備する合宿所機能を有する総合寄宿舎等の県立学校施設、既存のスポーツ施設(鳴門・大塚スポーツパーク、阿南市中浦緑地ホッケー場等)を連携させたスポーツ合宿プランを作成する。	平成26年度新規事業として、「とくしまトップスポーツゾーン推進事業」の「武者修行 in Tokushima」で全国の強豪校を招聘し、合同練習や強化合宿を行うよう進める。	当初	0	体育学校安全課
30	県外チーム、選手を招いての競技会等の誘致【ゼロ予算事業】	スポーツを通じた交流人口の拡大と、競技力向上を図るため、全国大会や県外からの選手や専門家を集めた競技会や大会等の誘致を進める。	現在、新規の競技会等の開催について、関係団体と協議中。	当初	0	体育学校安全課
31	四国八十八箇所開創1200年にあわせた「遍路道ウォーキングツアー」の開催【ゼロ予算事業】	老若男女を問わず静かなブームとなっている四国八十八ヶ所巡りに着目し、県外の方に「本場のお遍路」を体験いただくため、遍路道を巡るウォーキングツアーを開催するとともに、政策創造部、大阪本部等と連携して本県の遍路道を紹介するパネル展の開催に関する企画案を作成する。	四国八十八箇所開創1,200年を前に老若男女から注目を集めている「遍路道を巡るウォーキングツアー」の魅力をより一層、県外に発信するため、アウトドアギアメーカー広報システムを活用した情報発信、遍路道パネル展の県外開催等について、商工労働部と連携して検討中。	当初	0	教育文化政策課

本 四 高 速 全 国 共 通 料 金 対 応 戦 略 (第 1 弾) の 進 捗 状 況

6)文化・スポーツ・にぎわい戦略

徳島ならではの文化情報の発信や、スポーツイベント等の展開を図る。

H26.1末現在

番号	事業名等	事業内容等	進捗状況	予算区分	予算額 (千円)	担当課名
32	子どもたちに伝える「農村舞台」の魅力体験事業【ゼロ予算事業】	国民文化祭の4大モチーフの一つであり、体験型観光になじみやすい「農村舞台」を県内外の児童生徒、保護者に体験いただくため、徳島県内の農村舞台における人形浄瑠璃公演や襖からくりなどの民俗芸能の魅力を紹介するガイド付きのツアーメニューを関係部局と連携して企画案を作成する。	緊急雇用創出事業(起業支援型地域雇用創造事業)を活用し、3月から徳島市周辺の農村舞台でのプログラムの考案、広報媒体作成にとりかかる予定。	当初	0	教育文化政策課
33	総合教育センター及び埋蔵文化財センターを核とした遠足用プログラム作成事業【ゼロ予算事業】	香川県(東讃)や兵庫県(淡路)等の遠足や校外学習に活用してもらうため、総合教育センター及び埋蔵文化財センターを核に、あすたむらんど、鳴門市ドイツ館、大塚製薬板野工場等を周遊しながら、社会、理科、環境等の学習ができるプログラムを作成する。	緊急雇用創出事業(起業支援型地域雇用創造事業)を活用し、2月から広報チラシの作成等に取りかかる。	当初	0	総合教育センター、教育文化政策課(埋蔵文化財センター)
34	文化の森各館企画展等開催費	県民はもとより県外の方にも、収蔵品に接していただくとともに、学芸員等の調査研究の成果を紹介するため、各館における展示事業、関連イベント等を実施する。	博物館:「天下の台所大坂と徳島」「エイリアン・スピーシーズ」、近代美術館:「<遊ぶ>シュルレアリスム」「戦後@ニッポン展」、文書館:「広告・ポスターの社会史」、6館共催:「文化の森サマーフェスティバル」など、多彩な企画展等を開催するとともに、広報に努めている。	当初	36,808	文化の森振興本部
35	鳴門スポーツゾーン推進事業	学校スポーツの競技力及び指導力の向上を図るため、鳴門渦潮高校と大塚・鳴門スポーツパークを中心として、県外の高校生チームを招待した女子サッカー大会や専門的な指導者によるセミナー等を開催する。	○4月6日(土) 女子サッカー大会開催 ○6月23日(日)・11月17日(日)・12月13日(金) 指導者講習会開催 ○8月3日(土)・4日(日) バasketボールのトップアスリートを招聘して講習会 ○総合的体力診断 231名測定実施(1月末現在) 次年度も内容等の改善を図りながら継続して実施できるよう検討中。	当初	8,273	体育学校安全課

本 四 高 速 全 国 共 通 料 金 対 応 戦 略 (第 1 弾) の 進 捗 状 況

6)文化・スポーツ・にぎわい戦略		徳島ならではの文化情報の発信や、スポーツイベント等の展開を図る。				H26.1末現在
番号	事業名等	事業内容等	進捗状況	予算区分	予算額 (千円)	担当課名
36	「OUR文化教育」創 生事業	本県独自の文化教育(「OUR文化教育」)を創 造するため、徳島の歴史再発見事業など、徳島 の史跡・文化財を県民はもとより、県外の方にも 広く学んでいただく機会を設ける。	徳島の史跡・文化財の魅力を県内外に発信 するため、26年1月に県南部、2月に県西部、 3月に徳島市において、各地域の史跡等の文 化財をめぐるウォーキングを開催する。	当初	3,376	教育文化政 策課
6)文化・スポーツ・にぎわい戦略		36事業			896,972	

本四高速全国共通料金対応戦略(第1弾)の進捗状況

7) 広域医療福祉戦略		本県の医療・福祉環境を関西圏など幅広く情報発信を行うとともに、態勢整備を進める。				H26.1末現在
番号	事業名等	事業内容等	進捗状況	予算区分	予算額 (千円)	担当課名
1	とくしまユニバーサルデザインマップ啓発推進事業 (緊急雇用)	徳島県内におけるパーキングパーミット制度協力施設等、ユニバーサルデザインの配慮がなされた施設情報を掲載した「とくしまユニバーサルデザインマップ」の内容を充実させるとともに、関西圏に向けPRし、高齢者や障害者、妊産婦等の方が安心して来県できるよう情報発信を行う。	3月27日よりインターネット上で公開を開始した「とくしまユニバーサルデザインマップ」充実のため、4月22日より推進員1名を雇用し、県内事業所に対し新規登録等の働きかけを実施中。	当初	2,488	地域福祉課
2	GO!GO!くっつき隊応援事業	「子育て応援サービス」の内容の向上を図るためニーズ調査を行い、その結果を協賛店舗に提供する。また、ホームページをリニューアルし、「遊びに行くならとくしま!」のフレーズで関西圏域の子育て世帯へ徳島の魅力を発信していく。	5月のおぎやつと21において、ニーズ調査を実施。 子育て家庭応援事業四国の担当者会をH26.1月に実施。 子育て家庭応援事業の関西の担当者会も計画中。	当初	559	こども未来課
3	おいでよ!徳島若手医師確保推進事業	近畿の大学医学部等へ研修医募集パンフレット等を配付するとともに、ホームページで新中央病院のPR動画等を配信することにより、若手医師確保に向けた広報を実施する。	6月中旬、近畿の10大学医学部へ研修医募集パンフレット及び新中央病院の紹介DVDを配布。 6月下旬、大阪で開催されたレジナビフェアにて研修医募集パンフレットを配布。県のホームページで新中央病院のPR動画等を配信。	当初	200	病院局総務課
4	本四高速全国共通料金対応戦略スタートダッシュ事業 (県北エリア医療広域化推進事業)	県北エリアの新たな医療提供体制の紹介や淡路島からの通院等の利便性について効果的なPRを実施する。	8月上旬、淡路島の全医師会及び基幹病院を直接訪問し、平成26年度からの本四高速共通料金化の動きと徳島県北部の新たな医療提供体制等を紹介。	6月補正	1,000	医療政策課
7) 広域医療福祉戦略		4事業			4,247	

本 四 高 速 全 国 共 通 料 金 対 応 戦 略 (第 2 弾) の 進 捗 状 況

1)とくしま発信戦略 全国共通料金制度導入により拡大する本県のメリットや魅力について、全国に向けて情報発信を行う。 H26.1末現在

番号	事業名等	事業内容等	進捗状況	予算区分	予算額 (千円)	担当課名
1	SNSを活用した地域の潜在能力活用事業 (緊急雇用)	(公財)e-とくしま推進財団と連携し、過疎地域の自治体、企業、住民を対象とした、「SNSを活用した魅力発信講座」を開き、地域の観光、特産品などの情報発信を行う環境を整え、積極的なPRを行う市町村を支援する。	自治体や企業、住民を対象としたfacebookで地域の魅力を発信するSNS利活用講座を2月中旬から開始予定。	9月補正	2,320	地域創造課
2	「とくしま離島まるごと体感・体験」交流戦略事業 (緊急雇用)	本県の離島(伊島・出羽島)の美しい自然や独自の歴史・文化、島での漁業や農業などの魅力を関西・首都圏に情報を発信するとともに、島の魅力を体験する情報や島での暮らしなどを幅広くPRする。	伊島・出羽島の住民が直接、関西・首都圏の方々に島の美しい自然や漁業や農業などの魅力をPRし、島での暮らしなどの相談を行った。 ○全国最大規模の離島活性化イベント「アイランダー2013」に出展 開催日 平成25年11月23日、24日 開催場所 東京都池袋サンシャインシティ文化会館 ○大阪市内にて「とくしま島ぐらしセミナー」を開催予定 開催日 平成26年2月2日 開催場所 大阪府中央区シティプラザ大阪	9月補正	3,000	地域創造課

本四高速全国共通料金対応戦略(第2弾)の進捗状況

1)とくしま発信戦略 全国共通料金制度導入により拡大する本県のメリットや魅力について、全国に向けて情報発信を行う。 H26.1末現在

番号	事業名等	事業内容等	進捗状況	予算区分	予算額 (千円)	担当課名
3	「おどる宝島！とくしま」キャンペーン事業	<p>本県への観光誘客と宿泊者数を増大させるため、「おどる宝島！とくしま」キャンペーンを構築するとともに、プレキャンペーンを実施し、個人旅行の誘客促進などを強化する。</p> <p>また、JR四国などと連携強化を図り、「本県着地」の旅行商品造成を促進する。</p>	<p>【観光政策課】 「おどる宝島！とくしま」キャンペーンの内容を紹介したキャンペーンブックを平成26年3月に発行予定。また、併せて旅行雑誌・サイトでのPRや観光プロモーションを実施していく。</p> <p>また、平成25年12月17日にJR四国と観光パートナーシップ協定を締結。JR四国と連携・協力の上、本県誘客へ向けた取り組みを実施していく。</p> <p>【大阪本部】 3月に関西の大都市(大阪・京都)において、「阿波おどり」をフラッグシップとして、観光・物産をはじめとしたPRイベントを開催し、さらに近くなった本県の魅力を発信するため、関係機関と調整作業中</p> <p>また、2月9日、2月23日、3月9日に神戸市において阿波おどり教室を開催し、参加者に本県のPRを行う。</p>	9月補正	20,000	観光政策課 大阪本部
4	みんなで「すだちくん」魅力発信事業(緊急雇用)	<p>県民や企業など民間活力による「すだちくん」の魅力発信の効果や露出の場面を拡大し、県のイメージアップと経済的波及効果に繋げるため、「すだちくん」によるパフォーマンスを効果的に演出する多彩な衣裳の作成と「着ぐるみ」の機能アップを行う。</p>	<p>県民や企業による「着ぐるみ」の活用を推進するため、着ぐるみ「すだちくん」貸出センターを設置。</p> <p>利用状況が分かる「貸出カレンダー」の開設や、防臭対策として「インナースーツ」の貸出も開始。</p> <p>さらに、演出効果を高めるため、徳島ヴォルティスのユニホームやサンタクロースのコスチュームなどを順次制作し、貸出中。</p>	9月補正	4,400	もうかるブランド推進課
1)とくしま発信戦略		4事業			29,720	

本 四 高 速 全 国 共 通 料 金 対 応 戦 略 (第 2 弾) の 進 捗 状 況

2) 産業振興戦略

全国共通料金制度導入のメリットを最大限に活かした産業振興や、企業誘致を図る。

H26.1末現在

番号	事業名等	事業内容等	進捗状況	予算区分	予算額 (千円)	担当課名
1	徳島県東京営業拠点づくり事業 (緊急雇用)	徳島の農林水産物や加工食品などの商材を高付加価値商品として首都圏での販路を確立するための営業拠点をつくり、小売り販売等のビジネス販売を通じて徳島のイメージアップを図る。	委託事業者を選考するため、プロポーザル募集を実施する。	9月補正	800	東京本部
2	情報通信関連産業・人材育成強化事業	コールセンター等の情報通信関連産業は、今後更なる成長が見込まれる産業分野であることから、企業の人材確保を支援するため、県立総合大学校や県内外の大学と連携を図り、講座(セミナー)の開催及び県内のコールセンター等の情報通信関連企業の情報提供等を行う。	コールセンター等の情報通信関連産業に係る人材育成として平成25年11月26日に、四国大学と連携し県内コールセンター見学会を開催した。 また、四国大学において関連講座を開催(1月及び2月)	9月補正	1,000	産業人材育成センター
3	とくしまマルシェ地域活性化事業	「地域経済循環創造事業交付金」を活用して、常設店舗及びネットシステムの整備を行うことにより、商品開発、販路拡大を推進し、地域経済の活性化を図る。	惣菜加工・商品開発の拠点として「とくしまマルシェHOME」を平成26年1月6日に開店した。新ネットシステムの稼働や宅配事業の運用については2月中旬頃の予定。	9月補正	23,300	観光政策課
2) 産業振興戦略		3事業			25,100	

本四高速全国共通料金対応戦略(第2弾)の進捗状況

3)観光交流戦略

観光客の受入態勢整備や制度導入後のさらなる観光交流促進を図る。

H26.1末現在

番号	事業名等	事業内容等	進捗状況	予算区分	予算額 (千円)	担当課名
1	“ぐるっと剣山！”あわエコトイレ整備事業	老朽化著しい剣山山頂トイレについて、利便性の向上と自然環境保護に配慮した山頂トイレとして再整備するため、検討・詳細設計を行う。	詳細設計業務を11月末に発注済み。 3月末に詳細設計業務完了予定。 関係機関に説明・協議調整中。	9月補正	6,000	自然環境室
2	徳島コンベンション誘致促進強化事業	コンベンション誘致を促進するため、大規模な全国大会等を開催する主催者に対して、アスティとくしま等の会場使用料相当分を助成する制度を創設する。	全国にも類を見ない会場使用料助成制度を創設し、大会誘致活動を実施し、次年度以降の大規模大会の誘致が決まりつつある。	9月補正	4,000	観光政策課
3	アニメジャック推進事業 (緊急雇用)	マチアソビのイベント期間以外にも、アニメを活用したにぎわい創出のため地元商店街と連携し、コスプレ衣装やアニメ原画展示などのイベントを行う。 県外来場者の宿泊者数を拡大させるため、県内の宿泊業者、交通機関に呼びかけ、ホテルの1室をアニメで装飾するなどの「アニメジャック」推進事業を行う。	平成25年12月20日付けで「アクセル(有)」と業務委託契約を締結し、新規雇用を実施。 アニメ祭実行委員会やマチ★アソビなどと連携し、事業を開始している。	9月補正	4,324	にぎわいづくり課
4	都市農村共生・対流推進事業	農山漁村が持つ豊かな自然や「食」を、都市が観光、教育、健康等に活用することにより、都市と農山漁村の共生・交流を推進するため、農村集落と市町村、NPO法人等が連携した「集落連合体」を育成・支援する。	都市農村・共生対流の取組の紹介や体験・交流施設やスポットの最新状況を提供するため、「とくしまグリーン・ツーリズム」ホームページのリニューアルを進めている。 「集落連合体」の育成・支援のために県外の専門家を招き、農村地域の自然や「食」などの「資源」を再発見し、活用する方法を習得する「都市農村共生対流ワークショップ研修」を開催した。	9月補正	2,500	農村振興課

本 四 高 速 全 国 共 通 料 金 対 応 戦 略 (第 2 弾) の 進 捗 状 況

3) 観光交流戦略

観光客の受入態勢整備や制度導入後のさらなる観光交流促進を図る。

H26.1末現在

番号	事業名等	事業内容等	進捗状況	予算区分	予算額 (千円)	担当課名
5	室戸阿南海岸国立公園指定50周年プレ事業	平成26年6月の国立公園指定50周年に向け、環境保全意識の醸成や、豊かな自然を活かした地域活性化を図るため、「自然との共生」をテーマにイベント等を実施し、南部圏域への観光誘客を強力に推進する。	50周年記念イベントを実施。(1/18) 50周年記念コンテンツ・ガイドブック等を作成中。	9月補正	3,800	南部総合県民局
3) 観光交流戦略		5事業			20,624	

本 四 高 速 全 国 共 通 料 金 対 応 戦 略 (第 2 弾) の 進 捗 状 況

5) 交通ネットワーク戦略		観光誘客や物流における、さらなる利便性向上のための交通ネットワーク整備を推進する。				H26.1末現在
番号	事業名等	事業内容等	進捗状況	予算区分	予算額 (千円)	担当課名
1	徳島阿波おどり空港 国際便対応機能向上事業	徳島阿波おどり空港における国際便対応機能の向上を図るため、税関取調室及び国際使用トイレの整備に向けた実施設計を行う。	平成25年11月末に設計業者が決定。 現在、次年度の整備に向けて設計作業を進めている。	9月補正	5,000	交通戦略課
5) 交通ネットワーク戦略		1事業			5,000	

本四高速全国共通料金対応戦略(第2弾)の進捗状況

6)文化・スポーツ・にぎわい戦略		徳島ならではの文化情報の発信や、スポーツイベント等の展開を図る。				H26.1末現在
番号	事業名等	事業内容等	進捗状況	予算区分	予算額 (千円)	担当課名
1	とくしまの歴史文化・教育発信支援事業 (緊急雇用)	鳴門市、板野郡内の歴史文化施設、学習体験施設による徳島県の歴史文化並びに教育資源の豊かさを発信するコンソーシアム構築を支援する。	公募型プロポーザルにより企画提案を募集し、事業者を選定した。2月から緊急雇用創出事業を活用し事業を開始し、広報チラシの作成等に取りかかる。	9月補正	633	教育文化政策課
2	子どもたちに伝える阿波人形浄瑠璃と「農村舞台」の魅力発信事業 (緊急雇用)	県外からの修学旅行等の誘客を図るため、「農村舞台」における阿波人形浄瑠璃体験プログラムを構築し、ニーズに合わせた公演が可能となるよう体制整備を行い、本県の文化資源の魅力発信を行う。	公募型プロポーザルにより企画提案を募集し、事業者を選定した。3月から緊急雇用創出事業を活用し事業を開始し、徳島市周辺の農村舞台でのプログラムの考案、広報媒体作成にとりかかる予定。	9月補正	600	教育文化政策課
6)文化・スポーツ・にぎわい戦略		2事業			1,233	

本四高速全国共通料金対応戦略(第2弾)の進捗状況

7) 広域医療福祉戦略

本県の医療・福祉環境を関西圏など幅広く情報発信を行うとともに、態勢整備を進める。

H26.1末現在

番号	事業名等	事業内容等	進捗状況	予算区分	予算額 (千円)	担当課名
1	「Go!Go!くつき隊」 普及促進事業 (緊急雇用)	本四高速全国共通料金導入による関西からの観光客増加に対応し、子ども連れの家族が割引や各種サービスを徳島県内においても受けられることを広報するとともに、協賛店舗・施設等を拡充し、「Go!Go!くつき隊」パスポートの利用率及び利便性の向上を図る。	「GO!GO!くつき隊応援事業」をより魅力的なものとするため、「みんなが知って、より使いやすい」をテーマに、トイレの情報を軸とした事業の広報活動を実施する。また、現在の協賛店舗の確認と新たな協賛店舗の開拓を実施していく。	9月補正	5,618	子ども未来課
2	徳島若者交流の日 普及啓発事業 (緊急雇用)	平成24年9月に制定した、徳島若者交流の日の普及啓発と、本四高速全国共通料金対応を契機に徳島と県外の若者交流の促進を図るため、各種メディアを活用し広報を図るとともに、企業、団体とのタイアップにより若者参加イベントを企画、実施する。	徳島若者交流の日(毎月第1金曜日)にイベントを実施。プライベートやビジネスで役立つ講座の開催や、県外の若者との交流イベントを実施する。 また、チラシやタウン誌等により若者交流の日の周知・広報を図るとともに、協力して頂ける企業にはアンケートを実施し、イベント企画に活用していく。	9月補正	5,760	子ども未来課
7) 広域医療福祉戦略		2事業			11,378	